

からぼり川

がたろう通

第 81 号

2015年 4月 11日

発行

特定非営活動利法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa.org/>

発行責任者: 友保邦弘 TEL/FAX 042-894-9978 東村山市萩山町 2-19-10

大岱小学校の児童を対象にした総合学習支援

岡田一郎

このツツジは
私達が植えました

大岱小学校4年1組、2組

2015年3月



空堀川・東村山市水辺文化協議会、NPO 空堀川に清流を取り戻す会



大岱小学校の総合学習支援活動の一環として植樹祭を4年生対象に3月13日に実施しました。大岱小学校の総合学習支援は平成25年1月の3年生による植樹祭実施に続いて2回目の活動になります。

初回にはふれあい橋に近い左岸の管理道路の一部にオオムラサキツツジを100本植栽しました。

今回は第三天王橋に近い右岸管理道路の一部約18平方メートルにクルメツツジ200本を、2クラス76名の学童により植栽されました。

植栽場所の調査は2月から、また11日には固くなっている地面の掘り起しと苗木植込み配置用の30cm掘り下げ作業など植栽用地の開墾、除草、抜根、

地ならし、それに用土と肥料の補充などの事前準備作業は会員のほかに東村山小彼岸桜の会から3名、理事長の呼びかけで急遽支援を仰いだ市シルバー人材センターの植木班3名など植木や植栽技術に秀でたプロ級の方々の奉仕活動で行われ、また13日の実施当日にも参加いただき、手際よく諸作業が進捗できました。仲間との団体行動とはいえ、一様に目を輝かしながら各自がそれぞれにツツジ苗木を選び、そして「み」で用土を選び、植え込みに至る一連の作業を初体験した児童たち76名は200本のツツジの開花を待ち焦がれているようです。毎日の登下校や往来時には児童たちが自ら植栽したツツジの成長を見守り、将来にわたっての思い出になり、何時の日にか環境保全や美化活動に関心を持つ契機づくりになることも期待しております。

なお植栽地中央部のフェンス際には「このツツジは私達が植えました。大岱小学校4年1組、2組 2015年3月 苗木提供 しみどりと公園課 NPO 法人空堀川に清流を取り戻す会」の木製ミニ看板が設けられましたので道行く市民にも話題になりそうです。

13日の総合学習・植樹祭は以下の通り進行しました。

2組：38名参加、青木先生と川畑校長の引率



1時35分：植栽場所に集合、植込み前のツツジを前に記念写真撮影、

岡田の挨拶

友保理事長の作業説明

1時45分：各自苗木を持って植栽場所に移動、植栽作業と用土運び、

水やり（各自がペットボトル1本分の水を持参しました）

2時25分：振り返り（参加児童の感想等を聞きました）、友保理事長の

終了挨拶

1組：38名参加、山根副校長（女性）の引率

2時25分から3時15分の活動で2組と同様の進行でした。



参加児童からは「初めて経験した作業であり、面白く活動できました」。「疲れたが仲間と楽しく作業できました」。「きれいな花々が咲くのが今から楽しみです」。「これからも新しい活動をやってみたい」と4年生らしい素直な感想が寄せられました。



岡田がこの報告をまとめながら、幼少時代過ごした故郷の川岸に「柳の苗木」を、転勤先の山形で長男誕生の記念に隣接する小公園に植えた「ソメイヨシノ」は樹齢40年余になること、また転勤先々でリンゴやカキ、桃などの苗木を知人の庭や畑に記念植栽したことなどが蘇りました。

東村山市議会への陳情が採択されました!

平田 健一

私たちが提出していた陳情2つが、平成26年12月18日の東村山市議会で全会一致で採択されました。

1. 陳情提出の理由

当会は、当初は空堀川の水質が東京のワースト1で、ゴミの不法投棄が多かったことから、空堀川の清掃を行ってきました。その後、流域下水道の普及と当会が主体の空堀川クリーンアップなどにより、空堀川の水質・ゴミについては随分改善されました。一方、家庭排水は、下水道の普及により空堀川に排水されなくなり、清瀬の水再生センターに全量を送られ、空堀川の水質は改善されましたが水量は減ってしまいました。

空堀川の河川改修により、平成12年以降は空堀川の氾濫は無くなり、治水に関しては改修の目的は果たせていると考えられます。また、川幅が広くなり、三面張りから河床が土砂になったため、徐々に植物が生育し、生物にとって住みやすい空間になりつつあります。

しかし、川が深くなったため、以前は河床が関東ローム層であったものが武蔵野礫層という砂利層になり、川の水が河床から地下に浸透するようになりました。平成10年頃から西武新宿線から下流で瀬切れ（水がれ）が始まり、夏季から冬季に広がって行き、範囲も段々上流に広がっています。

空堀川は、日常の散歩・ジョギング等、「空堀川 川まつり」などで、多くの市民に親しまれています。

私たちは、空堀川にいつも水が流れ、魚（オイカワ、モツゴ、フナ等）・鳥類（カルガモ、コサギ、カワセミ等）が住み、市民から親しまれる川であって欲しいと願い、陳情を提出しました。



2. 陳情の内容

「空堀川の水量確保に関する陳情」は、空堀川に一定量の水量を確保してくださいという陳情です。その方法についてはあえて言及していませんが、空堀川の水量確保が東村山市民にとって一番の願いであるということのアピールしたかったからです。2つ目は、「空堀川の水量確保に関して意見書の提出を求める陳情」です。これは、平成17年に当会で提出し採択された請願は、東村山議会では採択されたものの東京都に対しては意見書を提出されていないことがわかりました。今回は、意見書を提出してくださいという陳情です。

陳情の内容は、東村山市議会のホームページ>トップページ>東村山市議会>市議会の活動状況>請願一覧>平成26年にも掲載されていますが、その概要を以下に示します。

なお、本文と添付資料は、当会のブログに掲載しています。

<http://karabori.exblog.jp/>

(1) 26 陳情第 33 号 空堀川の水量確保に関する陳情 (抜粋)

<趣旨>

空堀川は、源を武蔵村山市に発し、東大和市から東村山市中央部を縦断し、清瀬市で柳瀬川に合する延長約15kmの一级河川で、東村山市内を流れる川としては最大の川です。現在の主な水源は、東大和市の食品工場の工場排水を高度浄化したものとなっています。

空堀川は、東京都北多摩北部建設事務所が管理しており、東村山市内では時間30mm対応の暫定改修工事が約10年前に完了しております。H12年からH25年までの14年間に空堀川には溢水は生じておりません。治水としては、当初の目的を果たしていると考えられます。

空堀川は、以前は水質が都内でワースト1でしたが、水量は現在よりありました。現在、空堀川で問題となっているのは水量の減少です。東村山市内の瀬切れ(川の水が途切れること)は、以前は西武新宿線の下流だけでしたが、下流から上流に向かって進行しており、今年は東村山浄水場付近まで瀬切れが生じました。時期も、以前は夏季だけであったものが、冬季にも瀬切れが発生するようになっていきます。

年々水量が減少しており、このままでは来年には東村山市内の空堀川は平常時全く水が流れてこなくなり、水のない川になってしまいます。

一方、東村山市民は、東村山市内の空堀川に、次のような恩恵を受けております。

①管理通路の散策・サイクリング・ジョギング・休憩、バードウォッチン

(6)

グ(コサギ、カルガモ、カワセミ等)、釣り(オイカワ、モツゴ、フナ等)、川の中に入っての魚取り・川あそび、小中学生の野外体験学習、写真撮影・写生、水が流れ、魚・鳥がいることを楽しみにして歩いている市民が多くおります。

②ヒートアイランド化の防止

実際に気温を測った結果では、空堀川の近くでは他の場所に比べ夏季に1～2℃の気温の低下が見られ、これが近くの住宅地にも流れています。

③消火用水(地震時等で停電した時にも)

④川まつりの開催

当会は、これからも東村山市市民生活がうるおいのあるものであるために、次の事を東村山市議会に要請します。

<要望事項>

東京都建設局河川部及び北多摩北部建設事務所に、空堀川が東村山市民生活にとってうるおいのある川であるために十分な対策を講じるよう以下の申し入れをお願いします。

空堀川の水が、降水のない時にも流れるよう十分な対策を講じて、これからも下記に必要な水量を確保してください。

(1)川まつりが実施できるようにしてください。

(2)魚などの水生生物・鳥が生息できるようにしてください。

以上

【追加資料】(10月17日提出)

詳細は、当会ブログに掲載<http://karabori.exblog.jp/>

9月になってから、瀬切れ(水がれ)の状況が特に激しいので、追加の資料を提出しました。

久米川橋(西武新宿線の上流の橋)上流と野口橋(府中街道と交差する橋)の上流で、2～3年前と現在の状況を比較したものです。

(2) 26 陳情第 50 号 空堀川の水量確保に関する陳情に関して意見書の提出を求める陳情

<要請事項>

当会は、東村山市議会が東京都知事に、地方自治法第99条に基づき意見書を提出することを要請します。

皆様のご協力ありがとうございました。

これで空堀川の水量確保に向けて、東村山市役所、空堀川の改修工事を行っている東京都建設局北多摩北部建設事務所が対策を取っていただき、いい方向に向うことを期待します。

3. 経緯 今までの経緯は以下のとおりです。

第 33 号水量確保の陳情		第 50 号水量確保に関して意見書の提出を求める陳情	
年月日	実施事項	年月日	実施事項
平成 26 年 8 月 15 日	陳情提出	平成 26 年 11 月 14 日	陳情提出
平成 26 年 8 月 29 日	本会議で都市整備委員会に付託	平成 26 年 11 月 28 日	本会議で都市整備委員会に付託
平成 26 年 9 月 10 日	都市整備委員会で審議	平成 26 年 12 月 9 日	都市整備委員会で審議
平成 26 年 10 月 17 日	追加資料 提出		
平成 26 年 12 月 9 日	都市整備委員会で全委員の賛成で採択。第 50 号は委員会提出議案とする。		
平成 26 年 12 月 18 日	本会議で全会一致で採択		
平成 26 年 12 月 18 日	都知事あて意見書送付		



都市整備委員会 審議の状況 (9月10日)

空堀川・川まつり 今年も実施します
5月31日(日曜日)午前10時～
午後3時 美住町 からぼり広場 雨
天中止 模擬店、催し物いっぱい、フ
リマもあります。ぜひお出かけくださ
い。



空堀川フォトブック出来ました

空堀川の輝き

豊かな水と生き物、
輝いていた
空堀川の記録です
A5版 34ページ
ご希望の方に販売し
ます価格と納期は
問い合わせください



これまでの経過と今後の予定
(2015/01/10～2015/07/11)

- ◎01/10 第196回定例会
がたろう通信第80号発行
- ◎01/19 東京都 建設局河川部へ署名を提出
- ◎01/29 いも川づくり研修会(朝霞)
- ◎02/11 空堀川フォトブックとHP打ち合わせ
- ◎02/14 第197回定例会
- ◎02/27 流域連絡会見学会(多摩川上流水
再生センターなど)
- ◎02/28 小彼岸桜の剪定 枝垂れ桜の支柱
修復、ハマナス欄修理

- ◎03/11 大岱小植樹祭の植栽場所整備
流域連絡会
- ◎03/13 大岱小植樹祭、4年2組76名
ツツジ苗木200本植栽
- ◎03/14 第198回定例会
- ◎03/18 ユリノキ広場生垣手入れ
- ◎03/21 源流探索(カタクリの湯)
- ◎03/27 フォトブック「空堀川の輝き」見本上梓
- ◎04/01 花見(下堀広苑)
- ◎04/03 柳瀬川流域ネットワーク
- ◎04/11 第199回定例会 がたろう通信第81号
発行 26年度第3回理事会
- ◎04/18 第36回空堀川クリーンアップ日
時を確認してから参加ください)
- ◎04/ 流域連絡会
- ◎04/ 第1回川まつり実行委員会
- ◎05/16 第16回定期総会 第200回定例会
- ◎05/ 流域連絡会
- ◎05/ 第2回川まつり実行委員会
- ◎05/31 第17回空堀川川まつり
- ◎06/2～ 下堀・ふれあい広苑定例作業
- ◎06/7 身近な水の一斉調査
- ◎06/13 第201回定例会
- ◎06/ 流域連絡会
- ◎07/11 第202回定例会 がたろう通信第82号発行

会員募集

NPO法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活
動を支援し参加して下さる方を募っています。
NPO法人の活動に関心のある方はお問い合わせくだ
さい。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 : 入会金 2,000円 年会費 2,000円
団体・法人の場合 : 入会金 一口 10,000円
年会費 一口 10,000円

賛助会員(入会金不要) : 個人 年会費2,000円
団体・法人 年会費 10,000円

◎会費振込先: 郵便振替 口座名 : がたろう
口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。
東村山市萩山町2-19-10 友保(ともやす)

TEL/FAX : 042-394-9978

からぼり川

がたろう通信

第 82 号

2015年07月11日

発行

特定非営活動利法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa.org/>

発行責任者: 友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町2-19-10

第17回 空堀川・川まつり開催

垂水 荘 司



2015年5月31日(第5日曜日) 第17回 空堀川・川まつりは当日 雨との天気予報を覆し晴天の下、空堀川・からぼり広場(別名鯉のぼり広場)で盛大に開催されました。多くの市民の方々に空堀川等の河川環境についての意識向上と、地域・町おこしの一環として捉えていただけた事と思います。

当初、空堀川・川まつりは通水まつりでした、過去に一度の中止はありましたが、関係者の熱意と努力により継続され、その時代を含め17回目となりました。また、今回のまつりの参加推定人数は約2500名を超えていたと思われます。

(2)

当会が主幹事としては7年目になりましたが、友保理事長主導で実行委員会が4月24日と5月19日に、東村山市役所の会議室で行われました。会議のメンバーは地域の4自治体と東京都北多摩北部建設事務所・東村山市役所・空堀川に清流を取り戻す会の7団体の15名、事務局には東京都北多摩北部建設事務所と東村山市役所の10名の職員が当たられました。特に市役所の方々には当日、早朝よりテント、机、椅子等の備品等の運搬及び設営に当たっていただき大変ありがとうございました。



鯉のぼりが舞う晴天の下で午前10時に友保実行委員長の挨拶を皮切りに東京都北多摩北部建設事務所長、東村山市長等の挨拶と国会議員、都議会議員、市議会議員等列席者の紹介が行われました。



川まつりには模擬店13店、フリーマーケット45店、催ものとして金魚すくい、カヌー、餅つき大会、カモレース、魚の放流、稲荷囃子、阿波踊り、丸太切り、竹細工、和太鼓、ヨーヨー、草笛そして消防署救急隊による救命訓練体験、今回の試みとして空堀川にまつわる写真コンテストが行われました。各実行委員はこれらの運営の役割分担と、当日は10張のテント張等出店者も総出で会場の設営に当たりました。前日には、会場に鯉のぼり揚げ、各看板作成と取り付け、フリーマーケットの線引き(1区画今年も2m×3m)等の会場下準備作業を行いました。5月1日市報掲載で、フリーマーケットの募集と鯉のぼりの寄贈依頼から始め、チラシ5000枚(朝日、東京、毎日)の各販売店に折り込み依頼をしました。事前にポスター配布、立て看板の作成取付も手分けして実施しました。会の運営は若い人たち、特に東村山三生、東村山七中生、日体桜花高校生等約50名の生徒たちのボランティア活動が大きな存在でした。ゴミの収集分別、金魚すくい、ヨーヨー、カヌーの補助、カモレースの受付及び賞品配布、それぞれ積極的に参加していただきました。会場も老若男女が一体となって、和やかな雰囲気での川まつりが開催されたのではないのでしょうか。



空堀川の水量は昨年より大幅に減水し、第17回の川まつりがはたして開催できるのかどうか大変心配でした。昨年来東村山市はじめ、東京都への水量確保の嘆願を続けて参りましたが一向に水量確保の目途は立っておりません。当河川の管理者である東京都北多摩北部建設事務所所長の挨拶でも、具体的な水量確保の話は聞かれませんでした。すでに空堀川上流の、東大和市、東芝中橋～下砂橋の河川改修は大半が完了に近い状態です。雨水以外の水は下流である、東村山市や清瀬市の空堀川には流れてこないようです。この様な河川環境で、今回の川まつりが良くできたものです。この件については偶然が重なり、まつりの数日前に降雨があり一時川らしい状態になりました。その状態から人為的に堰を作りカヌーもできる程度の水量が確保できました。水のない川まつりはあり得ません、来年はこの偶然は期待できますか？水際で遊ぶ子供達にはカヌーで溜めた水がカモレースで使用されたことは全然関係のないことで、川には水があるのが当然と思われるでしょう、来年の川まつりはどの様になるのか大変心配です。

終始好天に恵まれ、会場の各イベントスケジュール及び各作業は順調に実施され、午後3時には東村山市道路管理課長の閉会の挨拶で川まつりは幕を閉じました。一日を通して何のトラブルや怪我もなく、そして多くの方々が後片づけに参加くださいました事が大変印象深く感じました。片づけの終了後、まつりの余韻を楽しんで、親子連れがイベント広場で遊んでいる光景は、来年の川まつりを呼び起こす事かもしれません。来年度のさらなる飛躍を期待し、関係者のご協力に感謝を申し上げます。

身近な水環境の全国一斉調査に参加

友保

第12回「身近な水環境の全国一斉調査」が6月7日に行われた。毎年6月の第一日曜日が国連で定められた「世界環境デー」であり、この日に合わせて人間の生活に最も必要な水環境の調査を全国一斉に行っている。おおよそ270の団体が180河川、3100地点で水質・水量などの検査を実施している。当会も東村山市内を貫流する空堀川の7地点で調査を実施し、データを事務局に提供している。このイベントは良好な水環境を後世に残していく上での貴重

(4)

な資料であるが我が空堀川については大きな問題がある。ご承知の通り雨が降らなければ7地点の内、下流部の4地点では全く水が無いので測定できない。雨の後では全地点で測定は可能であるが言わば雨水を測定していることになる。また数日雨が降らない場合の上流部3か所は流水の大部分を占める工場排水を測定していることになるのである。空堀川は常時水流がある本当の意味での川ではないが、都市河川固有の現実であるのでそれなりに意義があると考えて毎年実施しているのである。今年も数日雨が降らなかった为上流部3か所のみ測定した。



河川敷草刈りの事前立ち合い 友保

空堀川の河川敷に生えている草は河川管理者がおおむね年一回草刈りを行っている。草刈りの実施要領は当会が中心となって立案し関係者と合意して確立している。その主な要点の一つは水際から1mは刈らないで残す(但しオオブタクサなどの有害植物は除去する)。その目的は鳥や魚などの隠れ家とすること及び草の根で土手を保護することにある。二つ目は在来種

(固有種)を刈らないで残し、あわせて有害移入種の拡大を防ぐことにある。この方法はいわゆる「空堀川方式」として主な都市河川に適用されつつある。

事前立ち合いは最下流の大沼田橋から上流の馬頭橋まで左右両岸に分かれて、残す部分の植物名と範囲を詳細にチェックして地図に記入し、草刈り作業時に正確に実施するための資料とする。今年度は6月19日雨の中で、下流から順次担当区分ごとに3業者、当会及び北北建が同道して実施した。



市内7中学校・理科担当教諭の研究会にて

「空堀川に清流を取り戻す会」ミニ講座と空堀川見学会を実施

岡田 一郎

東村山市内の小・中学校20校では、先生方の資質能力と授業力の向上に資するためにそれぞれの教科・領域に分かれて多方面の教育研究を行っているそうです。

中学校の理科担当教諭は「教育研究会・中学校理科部」を設けて、将来を担う生徒の育成と理科教育に対する社会的ニーズに応えるために市内中学校7校の理科担当の先生20名で毎年の研究テーマを設定して、研究授業、教材研究、先進施設の見学と企業見学、先端授業の講義受講等を実施しております。この部会は、昭和50年代の初め頃に設立されたもので40年以上の歴史を有する部会だそうです。

27年度の取り組みは「地域の素材」を授業に活かすことを主眼に、「生徒の興味・関心を導く授業を目指して」が研究テーマにしていることで、6月度は環境保全活動を行っている「空堀川に清流を取り戻す会」が初めて選ばれました。今年の担当校は第三中学校・理科教諭の大石信弘先生です。大石先生は昨年3月に浄水場前の「ワンドのかいぼり」に参加した第三中学校の自然探究部の顧問であり、捕獲したスッポンとミシシippiaカミミガメを手にした元気な中学生達の元気な笑顔が思い起こされます。

今回の研修・見学会は部会では「空堀川の現状を理解し、これまでの環境保全について学び、今後の理科授業に生かす」をテーマにしていました。

当日は第七中学校理科室を会場に理科担当の先生21名と中学校理科部会顧問の第四中学校長・海老塚俊一先生も参加されました。



(6)

- 15:00～15:20 教育委員担当者挨拶
15:00～15:50 座学「空堀川の現状解説と空堀川紹介 DVD 放映」
16:10～17:00 からぼり広場および子どもの水辺周辺を案内
往路は浄水橋左岸から馬頭橋まで、復路は右岸を
空堀川の動植物等を説明し、話題にして倉庫前ま
でそぞろ散策
17:10 海老塚校長先生と大石信弘先生の挨拶後に現地で解散

岡田は座学前の挨拶と大会参加者の紹介を行い、座学はじめ空堀川の案内等はすべて友保理事長主導で行われました。参加の先生方には大会の活動紹介のDVD、空堀川植物目録、空堀川水量確保意見書、最新会報を袋入りしたセットで進呈しました。

参加の先生は東村山市内在住の方は少なく、空堀川に関わる知識が皆無で、初めて空堀川を見て、また初めて歩いたことで習得されたことが多かったと思われます。理科専門の先生の見聞した実物「空堀川」が今後の新たな理科授業活動や環境保全活動教育に展開されていくことを大いに期待したいものです。友保理事長も今後の理科授業への取り入れ方に関わる相談や提案を受け、また現地見学授業や出前授業へも積極的に支援・協力を惜しまないことを強調されました。参加された先生方やこれら教育に関わる関係者へのタイムリーなフォローアップも今後の活動策の一つにしたいと思いました。

参加活動された友保、石井、小久保さんお疲れさまでした。

5月29日南台小学校ヤゴ救出作戦

分部光春

例年南台小学校のプールで行われている、ヤゴ救出作戦ですが今年はイベントで無く、小学4年生2クラスを対象に学習として取り組みました。



まず25日の事前研修から28日プールの水抜き立ち会い、そして29日の本番と、そして31日の川まつりで子供達との放流と中々のスケジュールです。研修では石井理事作製のスライドショーを利用した「目で見る教育」は効果絶大、子供達はみるみるヒートアップでやる気満々です。石井理事のハイテク？技術は当会のイベントで大活躍です。



さてさて本番はロマンテックなヤンマの紙芝居と手作り感満載ペットボトルのヤゴ飼育セットの作りかた講座など有り、後は安全に注意して人海戦術です。



2クラス50数名でワイワイガヤガヤ、賞金首のヤンマのヤゴやチョット珍しいシオカラのヤゴなどもあちこちで、とったぞー、赤とんぼのヤゴなどはラッシュ時の山の手線状態でビックリびっくりです。ヤンマ系8匹、シオカラ系7匹、アカネ系1000匹以上と言う大変な数を救出、出来ました。天気にも恵まれ、怪我もなく子供たちには良い体験になったと思います。これで自然や空堀川が好きになってくれる子供達が多くなれば良いと感じた「南台小学校ヤゴ救出作戦」でした。ご参加の友保先生、垂水先生、石井先生お疲れさまでした。来年も宜しくお願いします。



後日談 川まつりで放流したヤゴ達は子供達に全て獲られてしまいました。ちなみに私のペットボトル飼育器では3匹のシオカラと赤とんぼが無事に羽化しました、持ち帰った生徒のヤゴさんどうしたかな？



これまでの経過と今後の予定

(2015/4/18~2015/10)

- ◎4/18 第36回空堀川クリーンアップ
- ◎4/24 第1回川まつり実行委員会
- ◎4/26 鯉のぼり掲揚
- ◎4/29 みどりの日祭典、フリマ勧誘
- ◎5/2 鯉のぼりの手直し
茅ヶ崎勉強会打ち合わせ
- ◎5/3 茅ヶ崎勉強会ルート下見
- ◎5/6 鯉のぼり撤収
- ◎5/7 会計監査
- ◎5/15 茅ヶ崎勉強会
- ◎5/16 第16回定期総会、定例会
- ◎5/19 第2回川まつり実行委員会
- ◎5/25 南台小ヤゴ救出オリエンテ
- ◎5/29 南台小ヤゴ救出作戦本番
放射線量測定(からぼり広場)
- ◎5/30 川まつり最終準備
- ◎5/31 第17回空堀川・川まつり
- ◎6/1~5 春の広苑定例作業
- ◎6/3 中学校理科教員の研修会
- ◎6/5 総会資料郵送(会員、東京都)
- ◎6/7 東大和市環境フェア
- ◎6/7 身近な水の一斉調査
- ◎6/9 川まつり反省会
- ◎6/13 第201回定例会
- ◎6/19 河川敷草刈りの立ち合い
- ◎7/3 よろず交流会(市民協働課)
- ◎7/11 第202回定例会
がたろう通信第82号発行
- 7/ 流域連絡会
- 8/11~ 夏の広苑定例作業
- 8/ 流域連絡会
- 9/12 第203回定例会
- 9/ 流域連絡会
- 10/10 第204回定例会

- 10/ 秋の広苑定例作業
- 10/10 第205回定例会
がたろう通信第83号発行
- 10/ 流域連絡会

会 員 募 集

NPO法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加して下さる方を募っています。

NPO法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 :

入会金 2,000円

年会費 2,000円

団体・法人の場合 :

入会金 一口 10,000円

年会費 一口 10,000円

賛助会員(入会金不要) :

個人 年会費 2,000円

団体・法人 年会費 10,000円

◎ 会費振込先: 郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市萩山町2-19-10

友保(ともやす)

TEL/FAX : 042-394-9978



からぼり川

がたろう通信

第 83 号

2015年10月10日

発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者: 友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町 2-19-10

水の憲法「水循環基本法」への期待

小倉 安洋



空堀川の最大の課題は、水涸れである。雨天が続くと連続した流れとなるが、ひとたび晴天が続くとすぐに涸れてしまう。名前からしてそのような性格を持った川かもしれないが、おそらく江戸が大都市に発展し、徳川時代の新田開発が督励された時期あたりから、武蔵野の開発が急速に進むと同時に、丘陵の谷戸は貴重な水田になったものと思われるが、水源である丘陵の森も影響を受けたのではないかと推察される。江戸の町のエネルギー源である薪や炭などの供給地になったのではないか。その頃の空堀川は、どのような姿であったであろうか？自然豊かで、現在よりも高い流域の保水力に守られ涸れ方もそれ程極端ではない小さな流れではなかったのではないか。もっと歴史を遡ると、縄文遺跡が空堀川の近くに存在していたことが判っており、貴重な水源になっていたことが判る。上流武蔵村山には、村山紬の「洗い場」の案内板が設置されているが、丘陵に更なる開発が及ぶまでは、狭い川幅ではあったが、常時、きれいな水が流れていたことが判る。

現在の姿をすべて過去に戻すことは無理にしても。空堀川が涸れない程度の流

れを再生したいものである。その意味で、まだまだ再生への努力が十分とは言えないのではないか。

前の東京オリンピックが行われた1964年頃から高度経済成長に至る時期以降、空堀川の流域は、大変なスピードで市街化が進行した。市街化の推移は、柳瀬川空堀川流域連絡会が作成した平成21年6月発行の「散策マップ」にも市街化率として掲載されている(1頁の図参照)。昭和30年(1955年)の市街化率は、19%。平成14年(2002年)では、76%。現在では、おそらく80%を超えていることが容易に推測される。流域の保水力を、この市街化率の逆数として捉えることができると思えば、いかに流域の保水率が低下したかが明白にわかる。この結果、降雨時の河川への流出速度が速まり、一瞬にして河川水位を高め洪水の危険性を高める、いわゆる「都市型洪水」が多発したのである。

流域の保水率を高め、地下水の涵養を図ることが、洪水対策・涸れ川対策の本質であることは、大多数が理解するところである。降雨時の河川への急速な流出を抑制して治水対策とする「総合治水対策」は、長い間叫ばれてきたものの、縦割り行政の結果、実効的機能を発揮しないまま今日に至っているところが多い。この弊害を打破し高い理念で「水の憲法」として超党派でまとめ上げ、国会で全会一致をもって成立させ、昨年7月1日に施行された「水循環基本法」(以下、基本法と略称)は、まさしく空堀川の最大かつ宿命的課題である「水涸れ」問題を解決するよりどころになる重要な法律であることを認識しなければならない。すでに総理を本部長とする「水循環政策本部」が内閣府に設置され、「水循環基本計画」も作成された。今後注目すべきは、都道府県など地方自治体レベルへのブレイクダウンであり、基本法では、「(流域)水循環協議会」という名称になっている現在の「流域連絡会」のしくみの発展的改組であろう。流域が一体的・総合的に、かつ、さまざまな主体が連携・協働して「健全な水循環」を実現する必要があることを再認識しなければなりません。

折しも、「玉川上水・分水網を世界遺産・未来遺産へ」という大きなプロジェクトが、「水循環都市東京シンポジウム」や「ユネスコクラブ」、「ロータリークラブ」などと連携して精力的に動き出しました。これらの動きにも注目し連携・協働しながら、空堀川の水涸れを解決すべく、その一步を力強く踏み出したいと切に願う今日この頃です。

久しぶりの投稿で、稚拙・不十分な表現もあったかと思いますが、意をお汲み取り頂き、何卒、ご理解ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

第三仲よし広場の一角に咲く、

虹の花「ジャーマンアイリス」顛末記

岡田 一郎

豪華な花姿で、花色多彩な「ジャーマンアイリス」に巡り合って早や15年が経ちました。

製薬会社に勤務して大阪支店を振り出しに仙台、山形、名古屋、千葉、そして最後は本社が在る東京と転勤を重ね、結婚後だけでも引っ越しを7回経験しました。いずれの転勤先でも仮住まいながら戸建ての庭付きの家に居住し、緑化の庭木や草花を植栽することを愉しみました。草花や植木を求める隣人には株分けして喜ばれたことで悦に入っていたものです。また子供の情操教育に資すればと思って、子供たちが選んだ季節の花々の種子や苗を植え、それに昆虫育成のための山椒や柑橘類の苗木を植栽したこともありました。この植物栽培の嗜好は結婚生活をスタートした山形市が日本三大植木市と言われる大規模の植木市が毎春5月に市内の古刹 薬師堂祭時に合わせて開かれた折に、毎回魅力的な庭木などを購入したことが契機です。当時は雪国特有のサラサドウダンツツジや各種の観賞用竹、そして福寿草、雪割草、コマクサなどを地植えし、また鉢植も愉しみました。これら各地で買った家族にとっては思い出深い庭木や草花も転勤時には潔くその土地に残してきました。しかし山形在住時代に同郷の知人がスキーで来訪した折の手土産の銀杏粒から発芽した実生のイチョウの鉢植えは40数年経つ現在も健在であり、同時期に得意先から譲り受けた紅白のシャクヤク2株はその後の転勤先々でも移植し続けて現在もわが陋屋の庭の一角で春には芳香のある見事な花を咲かせております。



転勤先々で株を増やして楽しみ、また隣人に株分けしたりしたもの、今日では既に持ち合わせていない、むしろ楽しむに飽きた紫蘭、秋海棠、オダマキ、ホトトギス、ハナトラノオ、トランペットフラワーなどの草花も思い起されます。一時の流行や気まぐれで栽培したものです。

上尾市郊外の農作畑の一角に住む同郷の幼友達宅を妻と一緒に初めて訪ねたのは確か平成11年の春と記憶します。

農家出身の奥様が丹精を込めてその株を増やし色とりどりに咲かせた「ジャーマンアイリス」の群生畑を眺めながら団らんをしました。その華やかな花に見惚れて、帰り際に紺色の花を2株譲り受けたのが「ジャーマンアイリス」との縁の始まりです。その後その多彩な花色と花姿の種類に魅せられて花姿写真付きの根茎を購入し、時には愛好家から譲り受けたりして種類を増やしてきました。

定年後の平成13年に東村山市に転居してからはいわゆるドイツアヤメ（独逸菖蒲）と言われる「ジャーマンアイリス」だけを栽培するために菜園畑を借りて、念願のジャーマンアイリス一色の群生花畑を作りました。この借菜園畑で増やした根茎を24年秋に第三仲よし広場の一角に移植し、今秋で4年目を迎えます。今年も桜花が散った後の4月末から5月中旬に約80株のジャーマンアイリスが見栄えのある豪華な花々を咲かせて道行く人たちを楽しませたようです。専ら手入は早朝や夕刻に出向いて行っているのでは何処の誰が植えたかは分からないようにしております。しかし2年前の花柄を摘む時期の早朝に市役所に勤務する大学の後輩に声かけられ、以来一部の仲間に知れ渡って話題になったことがあります。開花期が早晚性のバラエティーに富む植物ですが、例年5月末に開催される「空堀川・川まつり」時期には全て株は花が咲き終わっており、虹の花と言われるジャーマンアイリスの花色が多彩で気品の高い花姿を川まつりの来訪者に見せることができないのは実に残念至極です。

今年も借菜園畑に栽培してきたジャーマンアイリスの根茎を根分けする時期を迎えて、また新たな小さな花園づくりに相応しい場所を探していました。過日友保理事長ほか会員の賛同も得られましたので、ユリノ木広場前の一角に第二のささやかな「ジャーマンアイリス花園」を設けることにしました。秋のクリーンアップ前には荒れ地を耕して移植する予定であります。

かつては人家の通りにはグラジオラスやカンナが植えられていた時代がありました。背高い花ですが花色も限られ、余り華やかな花姿ではありません。しかし、ジャーマンアイリスは寒さや乾燥にも強く、北海道から九州まで広い地域で栽培でき、また虹の花（レインボーフラワー）ともよばれるように多彩な花色と美しい花姿を有し、アイリスの仲間では最も華やかで見栄えがある花で、野に咲く蘭の花のようです。ヨーロッパに野生する自然交雑種ゲルマニカをもとにして、ほかのいくつかの原種も取り入れて交配育成が行われた系統です。ピアデッドアイリス（ヒゲアイリス）の類に含まれ、花卉のつけ根の近くにブラシのように毛が密生しているのが特徴です。単色のもののほかに、上の弁と下の弁で色が異なるものも多く、ドレスをまとったような優雅な花の姿が個性的でまた香りもあります。

来春4月末の空堀川に色とりどりの鯉のぼりが大空を泳ぐ時期には、からぼり広場の左岸、右岸揃って鯉のぼりを見上げる地上には花色多彩で華やかな「ジャーマンアイリス」が咲き乱れることを夢見ております。なお、ジャーマンアイリスの花言葉を調べて初めて知りましたので最後に紹介します。

焰、虹の使者、素晴らしい出会い、恋の便り、素晴らしい結婚、燃える思い、豊満、情熱、エキゾチックな人、恋のメッセージ、優雅、よろしくお伝え下さい。

完

スイスに貿易港があるんですよ

石井 昭

私が、スイスを旅をしていた時です。サン・モリッツ〜ツェルマット St. Moritz-Zermatt <グレッシャー・エクスプレス Glacier Express>で移動中に右側に濁った水の川が見えました。アルプスの中を流れる川ですのであまり大きな川ではありません。その川がライン川だと教えられても、にわかには信じられない大きさでした。私のイメージでは、ライン川はゆったりと広い川幅で流れているとのイメージが強すぎました。それに、ライン川はヨーロッパを南から北に向かって流れていると思っていました。見た、その川は西から東に向かって流れているのです。帰ってから調べてみてビックリしたのですが、ライン川は全長が1,233km スイスのアルプスを源流として、スイスとリヒテンシュタインとの国境を流れオーストリア、ドイツ、スイスとの国境であるボーデン湖に流れ込み、西から来た流れがリターンする様に西に流れ出し、ドイツに入り今度はフランスとドイツの境を北に向かって流れ、ドイツを通りオランダに入り北海に流れ下るのです。

ライン川は上の方から、源流域・アルペンライン (Alpenrhein)・ボーデン湖 (Bodensee)・高ライン (Hoch-rhein)・上ライン (Ober-rhein)・中ライン (Mittel-rhein)・下ライン (Nieder-rhein)・下流域 (Delta-rijn) と、その流域によって呼ばれ方が違うようです。

私の考えていたライン川は、まさにフランスとの国境付近からドイツ、オランダに



私たちの願いはささやかだと思うのです。「住み慣れた家で、この大切な人と年を重ねたい」という願い。しかし、それは欲深いことなのでしょうか。

富山和子さんは山も川も水田のもつ意味も、現在起こっている社会の問題も歴史も教えてくれています。水の原点は土にあり、その唯一の形成者が森林であることも分かりやすく教えてくれています。

蛇口からでてくる水の旅。日本の川は「滝」のような急勾配であること。そのために、一度に雨が海に突進していく川の姿。堤防やダム役割。水不足の問題。川の役割は土も運び、肥沃な大地を生んでいること。さらに、川は水を浄化することができる機能をもっていたこと。土を失えば、水を失い、緑をうしない、文明は滅びるということ。

川本来の姿の多様性、即ち、生命の営みを教えてくれています。

さて、これから何を始めようかと自分自身に問いかける本でありました。そして、果てしない時間軸の中でつくられた身の周りの全てが、人間と自然とのたたかいや調和であることを、考えさせられました。

空堀川も例外ではなく、「滝」のような川です。大雨が降れば、一度に海へと突進していく川です。他人事ではないのだと、考えねばならないのだと思います。ただ、忌み嫌うのではなく、うまくつき合う方法を一緒に考えていきたいです。



000.00

000.01

費会平

これまでの経過と今後の予定

(2015/7/11～2015/12)

- ◎7/11 第202回定例会
がたろう通信第82号発行
- ◎8/5～6 下堀ふれあい広苑芝生手入れ
- ◎8/7 暑気払い
- ◎9/12 第203回例例会
- ◎9/30 流域連絡会
- 10/5～8 秋の広苑定例作業
仲よし広場ゴミ分別
- 10/10 第204回定例会
がたろう通信83号発行
- 10/18 北川クリーンアップ
- 11/14 第205回定例会
- 11 流域連絡会
- 11/21 第37回空堀川クリーンアップ
- 11 流域連絡会
- 12/12 第206回定例会
- 12 流域連絡会
- 12 忘年会

会員募集

NPO法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加して下さる方を募っています。

NPO法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合：

入会金 2,000円

年会費 2,000円

団体・法人の場合：

入会金 一口 10,000円

年会費 一口 10,000円

賛助会員 (入会金不要)：

個人 年会費 2,000円

団体・法人 年会費 10,000円

◎ 会費振込先：郵便振替

口座名：がたろう

口座番号：00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市萩山町2-19-10

友保 (ともやす)

TEL/FAX：042-394-9978

秋の空堀川クリーンアップを行います。

ます。

日時：11月21日(土曜日) 雨天翌日
9:30～12:00

場所：第一会場：からぼり広場
第二会場：下堀橋

どちらか近い方の場所においてください。よごれてもよい服装で(長靴、軍手など)



からぼり川

がたろう通信

第 84 号

2015 年 1 月 23 日

発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa.org/>ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者: 友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町 2-19-10

新年のご挨拶

友保理事長

新年明けましておめでとうございます。

当会は平成8年に立ち上げて以来約20年の歳月が流れました。毎月第2土曜日に開催する定例会も207回を数え、主な活動であるクリーンアップは37回、川まつりは17回、そして会報「からぼり川」は今号で第84号の発行となりました。

その間様々な環境保全活動や各種のイベントを開催して来ましたが、当会の最大の課題である「水量確保」に関しては残念ながら発会当初から一歩も進展していないのが実情であります。2020年来日する多くの外国人に水無し川を見せるわけには行きません。今こそ河川改修工事の進行にともなう水量減少を食い止めるための抜本的な対策が求められております。



空堀川の輝き

宅部池（通称たっちゃん池）のかいぼり

平田 健一

宅部（やけべ）池は、都立狭山公園にあるため池です。大正時代に“たっちゃん”という子供が溺れたということで通称“たっちゃん池”と呼ばれています。この池が、現在は北川の源流になっています。以前は、この水を下流の田畑の用水に使っていたようです。

スケジュール

11月上旬：北川に流れる水を調節しているせき板を外して、水位を下げる

12月上・中旬：汚泥の一部を機械で除去（説明会のころ）

1月中旬：ポンプ3台を使って本格的に水抜き

1月17日（日）：かいぼり実施

1月下旬：水草の再生実験を開始

2月下旬：池の水入れ開始

2015年12月12日（土）宅部池のかいぼり説明会

◎かいぼりの目的

①ごみと汚泥（ヘドロ）の除去

この日は汚泥を除去する機械を入れていたので、水が濁っていました。

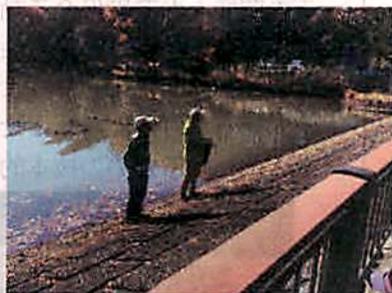
②外来種の駆除

前回(2010年11月)に行ったかいぼりでは、外来種が90%以上だったそうです。外来種は、オオクチバス（ブラックバス）、ミシシippアカミミガメ、ウシガエル（食用ガエル）、コイ（中国原産）などで、ゲンゴロウブナ（ヘラブナ）も元々琵琶湖にしかないものだそうです。在来種は、トウヨシノボリ、ドジョウ、すっぽんなどです。ブラックバスに、在来種の大部分が食べられているようです。ドジョウは、土の中に潜っているので食べられなくて残っているのではないかとのことでした。復活が期待される在来種は、テナガエビ、モクズガニ、コサナエ（トンボ）だそうです。

③水質浄化

池の底を太陽光・空気に触れさせることにより、水質が良くなります。

④水草の復活現在、



キショウブ・ミヤマシラスゲなどの外来の水草しかないので、在来種を復活させようとしています。水草を復活する場所は、南側の遠浅になった部分です。オオアブラ、ミズハコベを復活させようと、栽培しています。水草の種は、40年位土中で生きているので、その間に復活させたいということでした。期待されるのは、コウホネ、ヒシなどだそうです。確かに私が小学生のころは岡山の溜池・田んぼには沢山生えており、ヒシの実を取って食べていました。井の頭公園・石神井公園にも生えていました。

2016年1月17日(日) かいぼり実施

友保理事長は胴長姿も勇ましく参加、岡田副理事長と平田は見学しました。

実際にかいぼりに参加した方は、狭山公園ボランティア・北川カッパの会・井の頭公園かいぼり隊など40人以上、見学者も数百人いました。結構 皆さん関心があるようです。見学者用にかいぼりの目的・スケジュール・外来種がなぜいけないの?などわかりやすく説明がしてありました。

ゴミは思ったより少なく、大物はスクーター1台、他にはプラスチック袋・釣りの仕掛・テグスなどです。汚泥は、事前に機械で除去したせいか意外に少なかったです。

今回は、次の生き物が見つかりました。大勢でワイワイやっているのでも、水が澄めば小さい生き物が見つかるかもしれません。外来種：コイ 50cm以上が多数。ドイツゴイというウロコの無いもの。ゲンゴロウブナは、40cmの大物。オオクチバスは、40cm位で思ったより少なかった。事前にすくったのかもしれませんが。ミシシippアカミガメ30cmの大物がいました。ウシガエル20cm位のもの。

開始前の説明



かいぼり実施中



かいぼりの説明



捕れたコイ・ヘラブナ



在来種：やや小さいですが、モクズガニ8cm、トウヨシノボリ3cm位、テナガエビ2cm、ヤゴなどがいました。ドジョウはヘドロの中に潜っていたのか、見つかりませんでした。

私たちも、これを参考にして奈良橋川・空堀川の水量を確保するため、奈良橋川（空堀川の支流）の源流である番太池・赤坂池のかいぼりをしたいと思います。

第37回空堀川クリーンアップ開催

垂水荘司

空堀川クリーンアップは、回を重ねること今回が37回である。恒例として春は4月、秋は11月の第3土曜日、年2回実施しております。今回も好天に恵まれ11月21日（土）午前9時～12時まで行われました。目的は空堀川周辺の自然環境保護と、川に生息する生き物の保護の為でもあります。

集合場所は第1会場・からぼり広場、第2会場・下堀広苑。第一会場は上橋～西武新宿線架橋まで、第2会場はなかよし橋～大沼田橋間（天王橋からなかよし橋間は草刈り業者が実施済み）。

また同時開催で東大和市でも高木橋～上橋間で実施されました。クリーンアップ実施の為に事前放射線量の測定を実施し、東大和地区では除線対象スポット2カ所、東村山地区は0でした。

参加者は第1会場19名、第2会場38名、内訳をみますと一般の方9名（内こども1名）、森永乳業さま37名、行政0名、当会員11名でした。毎回感じておりますが、空堀川クリーンアップは森永乳業さまの協力なしでは成り立っていない現状です。会場の準備は8時00分頃から始まり、集合場所に道具の運び込み、会場作り、空堀川管理用フェンス扉の開錠、9時00分頃から参加者の記名、集合写真撮影、ゴミ収集時の心構え、ゴミ分別の説明、その後班分け、第2会場は3班に分けて9時半頃よりゴミ収集を開始しました。



途中10時半頃に飲み物(森永乳業さまより頂いたもの)を配布、一服を挟んで11時半頃には各集積所で、6種類の分別も終えて、11時40分頃からトン汁を皆さんで味わっていただきました。さらに会員の1人が長野のリングを差し入れてくれ、皆さんの労をねぎらう一助になりました。

クリーンアップの成果として、第1、第2会場合わせて(70ℓ/袋)、燃えるゴミ:47袋、燃えないゴミ:14袋、ビン・カン:8袋、ペットボトル:8袋、処理困難物-殺虫剤7ビン(回修業者が自社処理)、粗大ゴミ・ラジカセ1台、掃除機1台、電気コンロ1台、ビニル傘14本、金属パイプ(1m)2本、ホイールカバー1枚、扇風機1台、釣竿1本、その他放置自転車2台(空堀広場の上流、下流)にありましたが北多摩北部建設事務所のタグがついていたのでその場に保管した。

今回は過去のクリーンアップより、ゴミの量としては幾分少ないほうでした。これは業者による空堀川の除草時に幾分かが処理されたものではないかと思われるますが、今後もこの調子でゴミの減量を歓迎したいものです。

12時過ぎに、次回も皆さんに協力をお願いして解散しました。今後は一般市民のゴミ収集参加者を増やす方策として、実行委員会方式にする等、工夫を要する課題を残して事故もなく終了しました。

川のはなし

平田 健一

4. 川の流れを知る方法とは？

主な測定項目と方法には、以下のようなものがある。

(1) 降水量

降水量の測定は、雨量計、レーダー式雨量計で測る。

通常主に使われている雨量計は、転倒ます式雨量計である。直径20cmの円形の筒に降った雨を転倒ます(雨量0.5mmで一杯になるように作ってある小さなます)に貯め、それが転倒すると0.5mmの雨が降ったことになるので、転倒した回数で雨量を測る。気象庁は、アメダス(AmeDAS:Automated Meteorological Data Acquisition System)というシステムを全国で約1300箇所に観測所を設けていて、降水量、風向・風速、気温、日照時間を測っており、気象庁HPでリアルタイムに公表している。

レーダー式雨量計は、近年普及してきた方式で、地上から上空に向けて電波を発射し、戻ってくる電波の反射波の強さから雨量を測る。これは、局地的・短時間の雨を捉えやすい。こちらは、ほぼ全国をカバーするように、気象庁が20カ所に設置している。(H25.3)

(6)

(2) 水深・流速・流量の測定方法

1) 流量

川の流量の測定方法は、主に2つある。

一つの方法は、川の水が流れる断面積を求めてそれに平均流速を掛ける方法である。流速は、3)の方法による。

断面積 $A = \text{平均水深 } H \times \text{流れの幅 } W \rightarrow \text{流量 } Q = \text{断面積 } A \times \text{平均流速 } V$

そして、 $H-Q$ 曲線を求めて、水深 H から流量 Q を求める。一般的に、 $Q = a(H+b)^2$ の関係があるので、色々な水位 H の時に流量を求めて、実験的に a と b を求める。

二つ目の方法は、堰を越える水深を測って、計算で求める。流量が少ない小さな川でしか適用できない。堰には、流量により三角堰(逆三角形)・四角堰・全幅堰を用いる。堰は、水深と流量の関係がわかっているので、その式で流量を計算する。

2) 水深

直読(スケール)式、フロート式、水圧式、超音波式などがある。直読式は、直接スケールを目視で測る。超音波で測る方法は、超音波を出し反射して戻ってくる時間で高さを測る。直読式以外は、24時間・365日測ることができる。川幅の1ヶ所では誤差があるので、何箇所か測って平均するのが良い。

3) 流速

浮(ふ)子法：浮きを川の表面に流して、ある距離を通過する時間を測って流速を求める。

簡易的には、ペットボトルに長さ(L)の分かったヒモを付けて、川に流し、ヒモが伸びきるまでの時間 t を測り、 L/t (m/s)として測る。できれば、川の断面で何箇所か測ると良い。

プロペラ式：水中にプロペラの付いた測定器を沈めて、その回転数を元に流速を求める。これは、表面だけでなく水中の流速も分かる。この方法は、局所的な流速に左右されやすいので、何箇所か測った方がよい。また、洪水時は、危険で測定器が壊れてしまうこともあるので、この方法では測れない。

超音波式：超音波を水面に当てると、戻ってくる超音波の周波数が少しくずれるので、その差から流速を測る。これは、水表面の流速だけであるが、24時間・365日測れる。



俳句会とのコラボレーション

(空堀川の魅力を広めるため、空堀川を活動フィールドとされている方々とコラボします。)



川石の落景堰止め日本地図

沙世

北風とローシヤルダンス路上の景

沙世

夕向暮れ空堀川原たぬき駆け

真

初富士や空堀川に鷲舞へり

真

川床の石白々と寒の月

雑木林

流れなき川を風下りけり

雑木林

棕鳥の子子ときさへづる河川敷

緑

クレソンを指さし取れぬもどかしさ

緑

雪しんしん今朝の瀬音の早まりぬ

喜和

川べりの播種実験春近し

喜和

あやとり句会



これまでの経過と今後の予定

(2015/10/10～2016/4/16)

- ◎10/10 第204回定例会
がたろう通信83号発行
- ◎10/28 ナギナタガヤ播種実験
下堀橋下流左岸管理道路
- ◎11/04 ホームページ打ち合わせ
- ◎11/14 第205回定例会
- ◎11/21 第37回空堀川クリーンアップ
- ◎11/29 ジャーマンアイリス植栽
ユリノキ広場管理道路
- ◎12/12 第206回定例会
たっちゃん池かいぼり説明会
- ◎12/16 忘年会 久米川町天閣にて
- ◎12/29 久米川町 まちかど清掃
- ◎01/09 第207回定例会
- ◎01/17 たっちゃん池かいぼり
- ◎01/23 がたろう通信84号発行
- 01/ 流域連絡会
- 02/13 第208回定例会
- 02/ 流域連絡会
- 02/ 植栽イベント
- 03/12 第209回定例会
- 03/ 流域連絡会
- 03/27 ワンドかいぼり
- 04/09 第210回定例会
- 04/16 第38回クリーンアップ



NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加して下さる方を募っています。

NPO 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 :

入会金 2000 円,

年会費 2000 円

団体・法人の場合 :

入会金 一口 10000 円

年会費 一口 10000 円

賛助会員 (入会金不要) :

個人 年会費 2000 円,

団体・法人 年会費 10000 円

◎ 会費振込先：郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市萩山町2-19-10

友保 (ともやす)

TEL/FAX : 042-394-9978



からぼり川

がたろう通信

第 85 号

2016 年 4 月 9 日

発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者: 友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町 2-19-10

「玉川上水分水網を世界遺産へ」の動き

小倉安洋

昨年10月発行の本誌に水循環基本法に関する記事を寄稿させていただきましたが、末尾で『「玉川上水・分水網を世界遺産・未来遺産へ」という大きなプロジェクトが、「水循環都市東京シンポジウム」や「ユネスコクラブ」、「ロータリークラブ」などと連携して精力的に動き出しました。』との報告をいたしました。今回は、私が動き始めた経緯とその後の動向をお伝えしご理解とご協力をお願いしたいと思います。

この動きを最初に知ったのは、東大和のロータリークラブの若林会長からでした。すぐに、玉川上水ネット事務局長鈴木利博氏（小平市）を紹介され、すでに東大和市教育委員会に協力要請の話を進めているとのことで、社会教育部長への説明の場に同席いたしました。その内容は、簡単に言うと「玉川上水分水網を世界遺産へ」の動きへの支援要請になります。実は、ここまでの中で、大きな組織が作られ「玉川上水・分水網を世界遺産・未来遺産へ準備会（以下準備会）」が発足しておりました。鈴木氏にお会いし社会教育部長と面談したのは、第1回シンポジウム開催（5月29日）の直前でした。急遽、武蔵野スイングホールで行われた第1回シンポジウムに参加いたしました。大きな動きを進めるに当たって最も大事なことは世論を味方にする・市民の大きな声に支えられることでしょう。教育委員会へのアプローチはそのための第一歩ということであり、シンポジウム開催も世論形成のための重要なイベントであることが判ります。

私が、この動きを知った経緯は以上ですが、改めて、時系列で一覧表（別表参照）に整理してみました。実は、準備会の中心組織は「玉川上水ネット」であり、これらの動きを支えているのが、ロータリークラブです。ロータリークラブは、昨年5月に「東京の水文化を守るフォーラム」を開催しています。その趣旨は、『江戸時代の玉川兄弟の功績を基にその環境

が現代でも生かされており、米国の専門家もうならせた世界最高の飲料水浄化技術のルーツが玉川上水であることを認識し、先人たちの恩恵に感謝し『玉川上水を世界遺産へ』を目指す。』です。玉川上水分水網は、第2750地区ロータリークラブの全域・武蔵野台地全体に及ぶことであり、ロータリークラブは準備会をしっかりと支援していることが判りました。

また、これらの動きと呼応して、在京5大学（中央大・法政大・日大・東京理科大・東大）が「水循環都市東京シンポジウム」を、一昨年（2019年）の12月から昨年（2020年）8月にかけて5回に亘って「大学連携リレーシンポジウム」と称して、開催してきました。趣旨は『世界一の水循環システムを誇った「水都江戸」の遺産である玉川上水を現代に活かすことにより、オリンピックで来日する人々に、世界一の歴史と品格のある「水都東京」をお披露目して、美しく安全な東京で「おもてなし」をすることを議論します。』です。

以上のような動きの中で、昨年末（2019年）12月10日に水循環政策担当の石井啓一国土交通大臣宛てに「水循環都市東京シンポジウム」実行委員会から「水循環都市東京に関する要望書」が提出されました。提出者は、中央大/山田正、法政大/陣内秀信、日本大/天野光一、東京理科大/宇野求、東京大/沖大幹各教授です。趣旨の概要は、『2020年東京オリンピック・パラリンピック大会が決まり、水循環基本法が制定されたことを契機に、玉川上水を現代に活かし、オリンピック来日者に歴史と品格があり、美しく安全な「水都東京」をお披露目するために8つの具体策を添えて「水循環都市東京宣言」をまとめたので、これの実現を要望する。』というものです。

8つの具体策とは、①玉川上水に河川水を流す。②玉川上水を利用して水都東京を促進する。③河川・下水道一体の水位予測情報の提供。④緊急時水循環システム構築。⑤水循環システムを訪日者に紹介。⑥水都東京にふさわしい歴史文化伝統の紹介。⑦玉川上水を世界遺産への努力。⑧舟運の振興と防災船着場開放。

以上の中に、空堀川は明白には含まれていませんが、真夏に開催される2020東京大会成功には、水循環都市東京は欠かせないと考えます。これらの大きな動きの中に空堀川を取り込みたいと密かに考えています。

なお、去る2月27日（土）、玉川上水ネット事務局長/鈴木利博氏を講師に東大和中央公民館にて（仮称）玉川上水分水網を世界遺産へ東大和実行委員会主催、東大和市・同教育委員会後援の「野火止用水公開学習会」が開催され、続いて、3月27日には、小平中央公民館にて、学び舎江戸東京ユネスコクラブ主催の「小平の分水網（50km）は生きている!!」と題する講座が開催され、多くの参加がありました。この気運を大いに盛り上げ推進したいと考えます。会員、関係者のご理解とご支援を切にお願い致します。

<この原稿に関連する主なイベント一覧表>

期日・場所	イベント名称	主催団体	目的	内容
2015.5.26 六本木ヒルズハリ ウッドプラザ	東京の水文化 を守るフォー ラム	国際ロータリ ー第2750地区	世界最高の東京の水の ルーツは玉川上水。 この恩恵に感謝し、世 界遺産にする。	基調講演「東京の景観・風景・ 風土づくり」 世界遺産になりうるかのパネ ルディスカッション。
2015.5.29 武蔵野スイングホ ール	玉川上水・分水 網を世界遺産 へ・未来遺産へ 第1回シンポ ジウム	玉川上水・分水 網を世界遺産 へ・未来遺産へ 準備会	持続可能な東京の将来 像を考え、分水網が育 んできた自然・歴史・文 化環境を守り育てる。	・準備会代表による趣旨説明 ・元東京都副知事、大学教授、 文化庁アドバイザーによる講 演 ・土水関係者の報告
2014.12.3 中央大 2015.1.22 法政大 2015.3.9 日大 2015.5.26 理科大 2015.8.4 東京大学	水循環都市東 京シンポジウ ム	中央・法政・日 大・東京理科 大・東大の5大 学	世界一の水循環システ ムを誇った「水都江戸」 の遺産である玉川上水 を現代に活かすことに より、五輪の来客者 おもてなしする。	玉川上水を活かして水都を再 生。自然と歴史を活かして災害に 強く美しい世界一の水都を 実現。五輪と水の融合で世界一の 東京を目指す。ヒートアイラン ド化を抑制し真夏の五輪大会 を成功させる。
2016.2.27 東大和市中央公民 館	野火止用水公 開学習会	仮称) 玉川上水 分水網を世界 遺産へ東大和 実行委員会	野火止用水が玉川上水 から分岐する東大和で 学習会を開催し、市民 への啓発と組織	玉川上水ネット事務局長の鈴木 利博氏による講演。 玉川上水と分水網の歴史とそ の価値を
2016.3.27 小平市中央公民館	教養文化講座 「小平の分水 網(50km)は 生きている!!」	学び舎江戸東 京ユネスコク ラブ	私たちの故郷を歴史的 地域遺産に、豊かな緑 を未来の子どもたちに	第1部:小平の分水網の現状か ら考えたこと 第2部:玉川上水と分水網の文 化的景観価値と保全活動

夏やまと20番

野火止用水

この地帯を流れる野火止用水は、川崎市の地中管
が古くからあり、昭和47(1972)年に玉川上水から
分岐して作られました。昭和48(1973)年に東京
市立芝公園に開通し、昭和50(1975)年
に東大和市に開通されました。

野火止用水の水の清さ、流れと苔が、かつて
の生き生きとした水になっています。

（左から右へ、上から下へ）



グタワーなどで温度を下げる必要がある。

Ph:Ph 計で測る。最近、デジタル表示の物が多い。中性が pH=7 で、酸性が 7 未満、7 を超える場合アルカリ性である。環境基準では、pH 6.5~8.5、排水基準では 5.8~8.6(河川)となっている。有機的汚染度の指標として、BOD と COD がある。水が流れている河川の場合は BOD を使用し、滞留する水(海、湖沼)水には COD を使用する。どちらも、数字が少ないほうがきれいな水である。

BOD(biochemical oxygen demand) : 生物化学的酸素要求量 微生物が水の中の有機分を分解するのに必要な酸素の量。有機的な汚染度を示す。通常、測定に 5 日間かかる。大体 5mg/L 位よりきれいな水で魚が住める。下水道の放流基準は、20mg/L となっている。現在の空堀川は、3mg/L 程度で、一番汚染されていた時の 1/10 程度になっている。

COD(chemical oxygen demand) : 化学的酸素要求量 水に過マンガン酸カリウムを混ぜて、30 分間で反応する時に消費する酸素の量。これも、一般的に 5mg/L 程度以下であれば、魚が住めるとされている。BOD と COD は、一対一には対応していない。にごりは、通常透視度又は SS で測定する。かなりきれいな水(川、水道水、下水道の処理後の水など)は、一般的に透視度で測定する。

透視度 : 水を透明なチューブに入れ、底に二重線で十字を書いておき、どの深さ(cm)まで見えるか? で測定する。数字が大きいほうがきれいな水である。

SS(suspended solid) : 水中にある浮遊物質 水をろ紙でこして、残った残留物の重さを測る。数字が少ないほうがきれいな水である。洪水時の水は数百 mg/L であるが、通常は数 mg/L である。

DO(dissolved oxygen) : 溶存酸素量 水の中に含まれる酸素の量。酸素の量が多いほうが生物が住みやすい。数字が多いほうがきれいな水である。

細菌的汚染度 : 大腸菌群数、一般細菌群数

大腸菌は、大部分は有害ではないが、くみ取り便所等からもれて水に混入していないかを調べるために用いる。一般細菌群数は、水の中にどの程度細菌がいるかを調べる。どちらも少ないほうがきれいな水である。

EC(electrical conductivity) : 電気伝導率計により測る。電気伝導率は、イオンが含まれている量により変わる。EC が高くなると、それだけ汚染されていることになる。雨水で、10~30 $\mu\text{S}/\text{cm}$ 程度、日本の平均的な河川では 110 $\mu\text{S}/\text{cm}$ 、海水では塩分があるので 45000 $\mu\text{S}/\text{cm}$ 程度である。空堀川は、300~400 $\mu\text{S}/\text{cm}$ 位のことが多く、それほどきれいとは言えない。

私たちは、毎年 6 月に「身近な水環境全国一斉調査」として、空堀川でバックテスト(簡易法)により Ph, COD, NO₂-N, NH₄-N を、透視度、EC、気温、水温と流速・流量を調べている。その結果は、全国的に集計されている。

(4) 水の流れの解析方法

現地観測、水利模型、コンピューターを使用する数値シミュレーションなどの方法がある。

新入会員の自己紹介

① 小池 一平

入会にあたって、抱負なども含め自己紹介をします。

本年を以って64歳となります。「空堀川に清流を取り戻す会」の若返りにどれだけ寄与するかは不明ですが、気持ち年齢（精神年齢ではありません）・体力的には50歳代ですので、力仕事をメインにご協力出来るものと思います。出身田舎は、福島県川俣町（阿武隈山系の町で、絹織物ではそれなりには有名です）で全町が伸びやかで、川も綺麗で、泳ぎも川で覚えました。現在は、皆さんご存じかもしれません「田んぼリンク」で知られている同じ町の山木屋地区が「原発避難準備地域」に指定（来年解除される予定）され、子供たちの外遊びも憂慮せざるを得ない時期が長期間有りました。自然に対して気を使わずに、自然が自然のままであることが何と大事であるとの思いを改めて感じ、自然を満喫し、有るべき姿を守り承継していきたいと考え、その一助となればと、入会に至りました。ただし、あまり上段に気持ちを高めず、じっくりとお付き合いをお願いします。

② 原田 秀二

生まれは1943年3月です。

疎開から戻り、高校生までは武蔵小金井に居り、国分寺崖線の野川などで泳いだりしたものです。結婚し田無に移住、石神井川も近く三共製薬工場から流れる真黒な水、オレンジや黄色の水に驚いたものです。

趣味は2~30代は海、川の魚釣りでしたが、40代半ばから高校時代にかじった山登りに夢中になりました。その中で、山の深刻な状況に気が付きました。山では杉・檜を植え補助金を貰いますが、年寄りばかりの集落では枝打ちもできず、伸び放題の枝が陽を遮り下草が生えず雨などで表土が流され倒木が目立つようになり、わずかに残った野草や木の芽・樹皮・根っこもシカやイノシシに食い荒らされ登山道も流され通行禁止になる所も出ています。当然、谷間の沢や川は倒木、土砂で埋まってしまいます。こうなると飲料水の問題などにも影響が出ています。ただし山の動物だけでなく登山者のオーバー・ユースも問題だと感じておりました。今は山歩きも止めてしまいましたが、元来アウトドアが好きなお事もあり、また、シルバー人材センターを通じて知り合ったU堀さんに熱心にすすめられ「空堀川に清流を取り戻す会」に微力ながら協力、参加させて頂くことになりました。

東村山に越してまだ7年。未だ市内のことは知らない事ばかりです。いろいろご教示下さいませお願い致します。

俳句会とのコラボレーション

(空堀川の魅力を広めるため、空堀川を活動フィールドとされている方々とコラボします。)



春草を啄む鳥の慌し

彼岸へと桜吹雪の橋かかる

雪柳こぼれて静か散歩道

背比べ気をつけ立ちの土筆かな

くちばしを庭の小皿に春の雨

白梅や待合室の二十分

路の墨取りてもくへぬ幼き日

いち押しの日帰り湯あり青き踏む 春和

録

雑木林

真

沙世

登

ばたん

優規

春和

あやとり句会



からぼり川

がたろう通信

第 86 号

2016年 7月 9日

発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者: 友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町 2-19-10

身近な水環境の全国一斉調査

平田 健一

例年どおり、環境の日6月5日に東村山市内の空堀川7ヶ所で、水質・水量の調査を行いました。

調査方法

2016年 6月5日 (日) 10:20~12:00

友保理事長、原田さんと私の3名で行いました。

調査したのは、東大和市境の上橋・浄水橋・なかよし橋・御成橋・野行前橋・野行橋・清瀬市境の大沼田橋7ヶ所です。pH, COD, NO₂-N, NH₄-Niは、パックテストで行いました。

調査結果

調査は市内7ヶ所ですが、そのうち水があったのは3ヶ所だけで、残りの4ヶ所は昨年同様 水が流れていませんでした。この状況がここ数年続いています。特に今年は水量が前年の数分の一に減っており、水質も悪化してしまいました。透視度は、良くなっているところも ありますが、他の項目は悪化しています。CODは6になり、魚が住める限界は5と言われているので、このままでは魚が住めなくなってしまう。



【上 橋】



【浄水場】



【ふれあい橋】

(2)

大項目	項目	上橋 下		浄水橋 下		御成橋 下		
		2015年	2016年	2015年	2016年	2015年	2016年	
水質	気温 (°C)	25.9	22.8	25.7	21.9	25.9	19.1	
	水温 (°C)	29.2	21.5	27.4	21.5	19.6	18.9	
	pH	9.5	9.5	9.0	9.0	7.0	8.5	
水質	EC (μS/cm)	312	計器故障	144	計器故障	148	計器故障	
	COD (mg/L) 3回平均	3.7	5.3	2.3	6.0	0.7	2.0	
	NO2-N (mg/L)	0.005	0.2	0.005	0.1	0.005	0.02	
	NH4-N (mg/L)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
	透視度 (cm)	73	90	65	91	115	96	
	流量	流速 (m/s)	0.41	0.2	0.7	0.4	0.3	0.1
		流れ幅 (m)	4.2	1.7	3.3	2.4	5.0	0.6
平均水深 (m)		0.22	0.24	0.15	0.15	0.15	0.06	
流量 (m3/s)		0.39	0.082	0.35	0.14	0.23	0.004	

赤字は、悪化 青字は、良化

・洪水時の計画流量は、150m³/s(50mm/時間するとき)です。平水時の流量は、これの1/1000以下しかありません。

・浄水橋から下流は、普段 水が流れていません。

・御成橋には、JR武蔵野線からの地下湧水が流入しています。600～2000t/日(JR東日本調べ) ここだけ水があります。次の達磨坂橋に行くと、もう水がありません。



【御成橋】



【野行橋】



【大沼田橋】

まとめ 友保さん・原田さんお疲れ様でした。

残念ながら、こんなに水が無く、魚・鳥も見えませんでした。これでは、調査をする意欲も削がれます。しかし、水が無いというのも貴重なデータですので、調査は続けていかないといけないと考えています。

空堀川に水を！というのが、私たちの切なる願いです。

南台小学校 ヤゴ救出作戦！

平田 健一

東村山市立南台小学校のプールで、総合学習「ヤゴ救出作戦」を行いました。
ヤゴ救出作戦の意味

学校のプールは、秋から水を張ったままです。6月のプール開きを控えて、プールの水を抜き、掃除をします。この間に、トンボは、卵を産みヤゴとなって育っています。このまま水を抜くと、ヤゴは下水管に流れて、トンボになること無く全て死んでしまいます。トンボの子のヤゴは、蚊の子のポーブラを食べます。また、トンボは蚊を食べて生きています。ヤゴを救出することは二重の意味で、蚊を少なくする効果があります。

実施方法

2016年6月1日（水）9:00～10:30

南台小学校の3年1～2組の生徒66名、担任の先生2名他と私たち会員6名がサポーターとして行いました。

プールからヤゴを救出し、一部は教室・自宅で飼い、残りは校内のミニたんぼに放流しました。

生徒は、組ごとにプールの両側のサイドで各2回に分けて救出しました。組対抗です。ヤゴは、タモ網ですくってバットに入れ、20匹になったら、サポーターが種類を確認後、バケツに入れます。その後、救出数のカウント、後片付けをしました。今回は、2組の方が多かったです。自宅に持ち帰る生徒には、教室で渡しました。

今回は、時間が無く、ヤゴのミニたんぼへの放流は私たち会員が行いました。

生徒は、プールに入れる服装で、はだし・サンダルは不可としました。着替えの必要と思う子は、着替えを用意してもらいました。

用意したもの

学校：バケツ、バット

当会：タモ網、プラスチックスプーン（ヤゴをすくってバットに入れる）、バケツ、エアポンプ、記録紙、紙芝居（今回は、時間の関係で使用せず）

保険は、学校で掛けていただきました。

事前準備：担任の先生に、当会作成資料でなぜヤゴを救出するか？など事前学習を実施していただきました。

生徒さんの家庭に、ヤゴ救出作戦の趣旨と体調への配慮を連絡し、ヤゴを自宅でかう飼う場合の了解をいただいております。

教室で飼育できるよう、世話係を決め、トロ箱・エサなど必要用具類を用意していただきました。

プールの水は、前日に浅い所で10cm、深い所で20cm位になるように水を抜きました。

実施結果

アカネ系のヤゴ約1200頭を救出。数的には昨年よりやや多いくらいですが、昨年いたシオカラトンボ、ギンヤンマ、糸トンボは残念ながら見つかりませんでした。



【事前説明】



【ヤゴの生態説明資料】



【救出中】



【救出されたヤゴ】



【救出数などの報告】



【ミニ田んぼへの放流】

まとめ

子どもたちの笑顔が、なによりです。南台小学校では、たしか3年連続だと思えます。私は初めての参加でしたが、やって良かったなと思えました。この中には、川まつりに行きましたという子もいました。これを機に空堀川や環境全般に関心を持ってもらえれば更に良いな と思えます。

終了後、皆で使った道具をきれいに洗い、きちんと片付けたので気持ち良く終わることができました。次回は、田んぼへの放流も子供たちにしてもらえると更にヤゴを大切にしてくれそうです。

他の小学校でもやっていただければな と思えます。

こういう活動は、繰り返し行うことにより空堀川に関心を持ってもらうことにつながります。

特に小学生はこれから成長して大人になり、子供を育てることになると思えますので、大切です。これからも、続けていきたいと思えます。

参加・協力していただいた皆さんありがとうございました。

「平成28年度の事業計画」に寄せて

岡田一郎

28年5月14日10時から行われました第17回定期総会は会員総数34名中、17名が出席し、議題に対する質疑応答も活発で歴史的な総会になりました。改めて承認されました28年度の事業計画について活動概要を紹介いたします。

1. 実践活動

- ① 「子どもの水辺」区間の維持管理を行います。

東京都北多摩北部建設事務所と取り交わしている「覚書」に基づいて当会の担当する分野の事業を行います。具体的には、日常の清掃、簡易な草刈り及び木本植物の手入れ、堆肥作成施設及び手押しポンプ関連施設の維持管理、住民の意見や要望の取りまとめ等を行います。

からぼり広場に二つ目の「ジャーマンアイリス花園」が27年秋に完成し、今年の川まつりには新たな花を添えることができました。
- ① 「子どもの水辺協議会」と連携して「子どもの水辺」を活用した環境学習支援を行います。市内の小・中学校生徒、および「土曜子ども講座」のイベントの一部について体験学習支援を行います。

既に4月1日には「浄水場前ワンドのかいぼり」が第一中学校・科学部生徒の参加で行われました。6月1日には南台小学校の「ヤゴ救出作戦」が出前講座として実施され、「環境改善に資する総合学習」の一環に位置づけられるまでに定着した活動になりました。他校にも伝播することを願っています。これから秋に向けて具体的な実践活動も増えそうです。
- ② 「空堀川・川まつり」を当会が主体となって取り組みます。

少流量ながら「流れる川」を創造し、「川」にまつわるイベントや企画を漸増します。今年は救急救命講習、災害救助犬(レスキュードッグ)実技訓練が加わりました。東村山市の春の風物詩「空堀川4連の鯉のぼり」遊泳の下で、実行委員の手作り催事ながら今年度で18回を数えます。市内の3大祭りにまで昇華して市民が待ち焦がれる春の「まつり」に認知され定着しました。
- ③ 春と秋の二回、上橋～大沼田橋区間のクリーンアップを実施します。

春は既に4月16日に実施され、秋は39回を数え11月19日に予定しています。回を重ねる毎に参加者は漸増していますが一層の一般市民の参加拡充が課題です。
- ⑤ 世界環境デーの身近な川の一斉調査時に合わせて空堀川の水量・水質調査を行います。活動エリアの安全・安心を保証するためにも別途に定点の放射能測定

(6)

も行います。また食する桑の実とヨモギの放射能含有量測定も行う予定です。水量・水質検査は6月5日に行いました。相変わらず流量が少なく調査活動した3名の会員は悲嘆にくれました。放射能測定はすでにクリーンアップ以前の4月12日と川まつり前の5月18日に行い、安全・安心を確認し市民の問い合わせにも備えました。

- ⑥ 空堀川の環境整備計画を実現するよう関係機関（柳瀬川・空堀川流域連絡会などと協働します。

北多摩北部建設事務所主導による大沼田橋から馬頭橋間の草刈実施に際しても希少植物保護や自然景観維持の立場から関係者による現場事前立会いを7月1日午後実施予定です。

- ⑦ 「内野吉之助みどりの基金」を活用して空堀川流域の緑化活動を行います。7月の定例会で具体的な活動を決定する予定です。

- ⑧ 「子ども水辺」を中心にして、昆虫・鳥類・水棲生物・植生などの調査を行います。後半に実施する具体的な活動を模索中です。

2. 広報啓発活動

- ① 会報「がたろう通信」年4回発行します。

会の活動報告を中心に今年度は4月の85号、7月、10月、そして1月に88号発行を予定しています。78号からカラー印刷にしました。また84号から空堀川の魅力を広めるため空堀川を活動フィールドにしている俳句会とコラボレーションし、その選句を巻末に掲載しています。

- ② 新規に立ち上げたホームページの内容を確定し安定運用します。

現在はブログ形式で私たちの活動を逐一タイムリーに掲載しています。

- ③ 会の活動を充実させるために会員の拡充に努めます。

毎月第一土曜日開催の理事会、続く定例会、さらに定期総会その他各種の催事や活動に参加を呼びかけ情報提供や情報交換を積極的に行って、会員相互の連携強化と資質の向上を目指します。課題の整理や会員内外の啓発に資する研修会やセミナー等も試みたいと思います。

3. 作業受託活動

東村山市まちづくり部から受託した2件の契約（空堀川下堀広苑・ふれあい広苑植込み手入れ作業、美住町1丁目第3仲よし広場清掃等作業）を履行します。

6月に実施したふれあい広苑作業では河畔フェンスから川側にはみ出している植込み樹木の徒枝木を全て切除する5年ぶりの作業を行い、川の景観を一変させました。

「遠い道程なれども進まなければ到達しない」

を肝に銘じて記しました。

俳句会とのコラボレーション

(空堀川の魅力を広めるため、空堀川を活動フィールドとされている方々とコラボします。)



組板へかける越湯梅雨深し ぼたん

不揃ひの里の琵琶には里の味 紫山子

めだか買ふ三十円の命買ふ 雑木林

頂いたもぎたて茄子に顔映し 沙世

竹林の閑へ誘ふ白紫陽花 真

何回も猫とおしやべり熱帯夜 緑

歳月の醸す梅酒の琥珀色 喜和

あやとり句会



これまでの経過と今後の予定

(2016/4/9～2016/10/8)

- ◎4/9 第210回定例会
がたろう通信第85号発行、花見
- ◎4/11 事前CU (天王橋～なかよし橋)
- ◎4/16 第38回空堀川クリーンアップ
- ◎4/25 川まつり実行委員会 (第1回)
- ◎4/27 鯉のぼり掲揚 (94本)
- ◎5/9 川まつり実行委員会 (第2回)
鯉のぼり取り外し
- ◎5/10 総会資料印刷
- ◎5/14 理事会、総会、定例会、川まつり看板
- ◎5/21 水質検査リハーサル
川まつり会場準備
- ◎5/22 第18回空堀川・川まつり
- ◎6/1 ヤゴ救出作戦 (南台小)
- ◎6/5 身近な川の一斉調査
第31回東大和市環境市民の集い
- ◎6/6～9 下堀・ふれあい広苑定例作業
- ◎6/11 第212回定例会
- ◎6/17～18 久米川町公園植栽手入れ
- ◎7/1 空堀川草刈り事前立会い
川まつり反省会
- ◎7/8 流連 (源流視察会)
- ◎7/9 第213回定例会
がたろう通信第86号発行
- 7/ 堆肥置き場整理
- 8/ 下堀・ふれあい定例作業
- 8/ 流連
- 9/10 定例会、空堀川勉強会
- 9/ 流連
- 10/ 下堀・ふれあい定例作業
- 10/8 第214回定例会
がたろう通信第87号発行

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加して下さる方を募っています。

NPO 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 :

入会金 2,000円,

年会費 2,000円

団体・法人の場合 :

入会金 一口 10,000円

年会費 一口 10,000円

賛助会員 (入会金不要) :

個人 年会費 2,000円,

団体・法人 年会費 10,000円

◎ 会費振込先: 郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市萩山町2-19-10

友保 (ともやす)

TEL/FAX : 042-394-9978



からぼり川

がたろう通信

第 87 号

2016 年 10 月 8 日

発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者: 友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町 2-19-10

第 1 回 空堀川 公開勉強会を開催しました 平田健一



空堀川のことを考えてみませんか？ということで、この会を始めました。空堀川は、東村山市内を流れる最大の川なのに、あまり街の一部としては考えられていません。市民の方が気軽に参加できて、空堀川のことを知っていただきたいという会です。

今回のテーマは、「空堀川の歴史を知ろう！」でした。

旧石器時代から現在までの空堀川の歴史を振り返りました。

開催日時: 2016年9月10日(土) 10:00~11:50

10:00~11:00 空堀川の歴史 説明

11:05~11:50 質疑、意見交換、フリートーキング

開催場所: 東村山市地域福祉センター (東村山駅西口より徒歩5分)

参加者: 一般市民8名(+お子さん2名)、他ボランティア団体4名、当会関係者13名

◆空堀川の歴史

1. 空堀川の概要

武蔵村山市→東大和市→東村山市→清瀬市で柳瀬川に合流。延長約15km、河川勾配約1/200

2. 空堀川の生い立ちと歴史

・**空堀川の生い立ち**：空堀川は、武蔵野台地の扇状地の上に1万2000年以上前にできた川である。

・**歴史に記された空堀川**：江戸時代：砂の川、悪水堀などと呼ばれていた。明治初期：空堀川の周辺（特に上流部）は、田んぼとなっていて調整池の役割を果たしていたと考えられる。住民は、狭山丘陵の際に住んでいた。～昭和30年代：明治初期と同様。川から少し離れた土地は桑畑。昭和40年代～60年代：急激に都市化して、いままで人が住んでいなかった空堀川周辺にも人が住むようになった。

・**空堀川の変遷**：空堀川の名前は、昭和29年についた。昭和40年に、市の管理から都の管理する一級河川となった。

・**空堀川の水質汚染の歴史**：H16年までは、BOD 70～40ppm程度、H17年からは10ppm程度、現在は3ppm程度。都内63河川の順位では、S50は63位（ワースト）、H10～16は62位、H19年以降は50～25位。

・**下水道の整備と水量の激減（S58～H9）**：広域下水道の整備により、水質は良くなり魚が住める程度になったが、水量は激減した。これは、生活用水が下水道に流れ、清瀬の水再生センターで処理されて、柳瀬川に放流されていることによる。空堀川には汚水は流れなくなった。常時は、東大和市の森永乳業の工場で使用した水を高度浄化して空堀川に流している水が主な水源となっている。雨水は、以前と同様空堀川に流れるので、雨のときだけ多くの水が流れる。

3. 空堀川の現状

空堀川が河川整備されるにつれて、流れが消えている。現在は、浄水橋（新青梅街道をくぐる）から下流は常時水が無い。御成橋付近のみ、JR武蔵野線の湧水をポンプアップしているので、常時水がある。水が流れていれば、ヒートアイランドの緩和になるが、常時水がないと河原がかえって高温になってしまう。また、川を消火用水として使えない。現在の整備のやり方では、人が川に近づけない。（親水性がない。）膨大な整備費をかけているが、河川の氾濫は無くなったが、却って生活環境を悪化させている。

4. 空堀川の未来に向けて

巨額な公共投資を、街づくりとして活かす。流域4市と市民が協同して、イベント等に活かす。河川区域の一部を市民参加で維持管理する。このような方向性が必要と考えています。

その後、NPO空堀川に清流を取り戻す会の活動について紹介、色々なご意見をいただきました。今後、市民の皆様が気軽に参加できる会として年数回この様な会を開催したいと考えています。今後のテーマ・内容についてもご意見を聞かせ

ていただければと思います。広報の改善などをして、更に多くの市民の皆様に参加していただける様にしたいと考えています。

空堀川の源は？ 小池 一平

空堀川の源は？との話があり、「見に行こう」との探求モードで参加申し込みです。「源は？」ですから《探検モード》で、期待感増大です。

予習が大事と思い『ウイキペディア』を覗くと、(武蔵村山市の都立野山北公園を源とし、云々)とある。夏場であるし、また、「源は？」への道であるので足元を確実に、熱中症対策を十分にと思い、

集合場所はと聞くと【9月5日：13時に東大和市の森永乳業東京多摩工場前】とのこと？

野山北公園ではないのか？

探求モード案内人リーダーから「君・君、現在の空堀川の主な水源は、工場の排水なのだ」

とのお話。工場排水ならばしっかりとその内容と流れを学習せねば！！

9月5日：13時に東大和市の森永乳業東京多摩工場前集合。参加者は、清瀬市・東大和市からも同好の諸氏が合計で15人参集。いざ、学習探求へ。

まずは工場施設案内、ビデオを交えての説明を受け、一般の見学コースで製造工程を見学し、さらに、源探求モードの我々15人組であるので、環境保全・省エネ・省資源への取組について丁寧な説明を受ける。製造原料は、北海道等からのタンクローリーで運ばれてくる「生乳のみ」であり、水の使用は地下250mから汲み上げている井戸水(井戸は9本)を設備機器等の洗浄のみに使用しているとのこと(ヨーグルトなどは粘度が高いので使用する水の量は)。この洗浄水が、現在の空堀川の主な水源である。

洗浄水の排水処理過程ゾーンを見学する。

「標準活性汚泥法」により高度処理し、処理のスタート部分では透明度0の水が、循環し、きれいになっていく。きれいになった浄化水4,000t/日を空堀川へ。残りの汚泥は肥料として活用している。

最後に、工場から「空堀川への流入を公共下水への依頼が東大和市から依頼があり、今後とも、大幅な流入水の増加は困難とのこと」との話があり、「空堀川に清流を取り戻す」ことの困難さ、大切さを、全行程3時間を超える探求時間で考えさせられた貴重な経験でした。



報告 「夏の清掃活動 (東大和)」

小倉安洋

東大和では、夏の清掃活動も恒例にしており、今年は、7月に実施しました。結果を下記に写真報告致します。

7月は、暑く熱中症も懸念されるなど、清掃作業には不適な時期ですが、夏休みになり子どもたちが川に降りたり入ったりする機会も多くなることを考え、この時期にあえて取り組んできました。今回も、梅雨明けの猛暑を懸念しましたが、お陰様でこの時期には珍しい涼しい中での開催になり、120名(行事保険加入者名簿)という大勢の皆さまのご参加を得て、無事に終了することができました。

これも、東京都北多摩北部建設事務所工事第二課、東大和市環境課並びに飲料を提供頂きました森永乳業(株)東京多摩工場様をはじめ、(株)サンワーク様、空堀川をいい川にする市民の会様、大和郵便局様、東大和市社会福祉協議会様、スクールガード様、まち連様などの行政・企業・団体と多くの一般市民の皆様のご支援・ご協力のお陰です。

心からの感謝を申し上げます。

<今回(第28回クリーンアップ)の結果>

参加者: 120名、収集したゴミ: 合計130kg (可燃ゴミ110kg・不燃ゴミ20kg) + ほか資源ゴミ

1. 集合写真 ①



2. 清掃作業の様様 (②狭山橋、③上砂一の橋)



3. ゴミの分別作業と現地収集結果 (①分別作業、②清水富士見緑地、③高木橋)



5. 清掃組合搬入直前の最終分別 (①分別作業1、②分別作業2、③可燃ゴミ)

空き缶の袋の中に、スプレー缶の混入が見られた。次回以降、更に注意を要することが判明した。



入会にあたって

荒川昭彦

今回、賛助会員として入会にあたり、自己紹介を兼ね若干の想いを述べさせていただきます。郷里は善光寺の膝元の長野市で、長さ日本一の信濃川の本流の千曲川と北アルプスを源とする犀川の清流が市内で合流し、その間に挟まれた川中島は歴史に有名な武田・上杉の川中島合戦の地でもあります。高校卒業後進学を機に郷里を離れましたが、両河ははじめ豊かな自然と戯れた青春を今でも懐かしく思い起こしています。所帯を持ち、暫く武蔵野市の社宅に住んだ後、今から47年前に東大和市の清水橋のたもとの川べりに新居を構えたのが、空堀川との係りの初めでした。当時、空堀川は普段水量は少な目でしたが、時々豪雨で川が溢れ、周辺の道路が冠水したものの敷地まで浸水することはなく、近所の住民の間では、もう少し川底を掘り下げてもらえぬかと馬鹿な素人考えをしたものでした。その間、行政側で計画された空堀川改修拡幅工事が下流側から始まっていることを終ぞ知らぬまま、立ち退きの2年ほど前に強制収用を知らされ、24年間住み馴れた地から隣接の東村山市に移住した次第です。東村山市での生活は、既に23年になりますが、会社勤めの間は典型的な会社中心の生活パターンに終始し、恥ずかしくも地元・地域のことは余所者同然の無知のままでした。退職後、時間に余裕ができ、健康のためにもと考え、地元・近隣の史跡巡りや山野の散策を日課のごとく行い、中でも空堀川兩岸の遊歩道の散策は最も気に入るコースで上流から下流まで楽しんでおり、特に河川敷一面に咲き誇る菜の花や偶に美しいカワセミを見掛けては感動しております。しかし残念なことは川の濁水であり、私の短い体験の中でも、10年程前には中流域でも真鴨や怪鴨が良く見られたが最近は少なくなり状況の悪化が気掛かりでした。そんな折り、市報の「空堀川クリーンアップ作戦」の記事が目にとまり、初めて参加した機会に、理事の岡田さんから「空堀川に清流を取り戻す会」の活動内容をお聞きし、今まで地元住民としての不義理と空堀川への感謝の気持ちもあって、入会した次第です。来年は八十歳になる高齢ですが、幸い足腰には自信があり、何かのお役になればと思いますので宜しく願いいたします。

難事ではありますが、行政・市民と連携協力して、当会の名称が実現し空堀川の汚名返上の日が来ることを祈念しています。

夢を実現した「御成橋下の川床」に遊ぶ 岡田 一郎

定年後も縁あって第三の現役活動を、それも毎日勤務のビジネスマン生活を15年間続けて来ましたが、今春5月末日で潔く退きました。毎日が日曜日の6月からは、定例の草刈作業に入会以来初めての参加でした。真夏恒例の草刈活動は、8月17

日と24日に行われ、両日参加しました。この両日の昼食時に、わずかな水量を保つ



空堀川を眼前にしなが、誰からともなく京都・「鴨川の川床」が話題となり何時になく盛り上がったのです。24日の活動は昼食後に俄か雨が強くなり、午後の活動が中止になりました。解散時の挨拶で、27日の青葉町夏祭りに合わせて、御成橋ワンドの「かいぼり」とその後の「川床」実施の提案が分部さんからなされました。その深更には分部さんから8月27日予定の「御成橋・「かいぼり」と「川床」」実施概要がメールで案内されました。しかし、27日は作業開始前から降雨があり「かいぼり+川床」催事の延期宣言がなされてしまいました。しかし、延期していた「空堀川・川床」イベントは9月9日の御成橋ワンドのかいぼり作業後に実施されました。朝から快晴で、川の流量も穏やかになっておりました。初の「空堀川・川床」は

澄み切った清流の御成橋下に設けられました。素足で川中央の川床まで向かう趣向で、皆歓声を上げながら席を確保しました。かいぼり作業に汗を流した会員と分部さんの仲間3人を交えて、1時過ぎには膝をまじえて参加者全員の乾杯発声で祝杯を交わしました。それぞれの自己紹介があり、お国自慢を紹介し合って談笑に時を過ごしました。清流の真上に設営した川床は天然のクーラーともいえる清涼感を存分に味わうことができました。何時の日か「空堀川・川床」催事を夢見ていましたが、仲間と実現できた喜びのあの日を忘れられません。はるか昔に、遠望した京都の夏の風物詩「鴨川の川床」をおぼろげに思い起しながら、それぞれに用意した各種銘酒を私が一番ご馳走になったようです。我に返った時に、自宅の寝室で寝ていることが不思議に感じたほどでした。うだるような暑さのなか、涼を求め、川べりでゆったりと宴を楽しむ。エアコンなどの無かった時代から受け継がれてきた先人の知恵です。京都の奥座敷の貴船では「かわどこ」、鴨川では「かわゆか」さらには「納涼床（のうりょうゆか）」とも呼ばれているそうです。



将来、清流が取り戻されて「空堀川・川床」が親水性活動の発掘とその契機になるように、また次回開催時には「鮎」が用意されることの二つを今から夢見ています。



俳句会とのコラボレーション

(空堀川の魅力を広めるため、空堀川を活動フィールドとされている方々とコラボします。)



釣果手に釣瓶落しの川上る

真

秋茄子の小さきままに主役なり

紫山子

コスモス田立てばやさしき人となる

緑

八国の嶺の頂とろろ汁

蕨木林

今日もある垣根に糸瓜日を浴びて

ぼたん

秋草に屈む時間を賜りぬ

妻和

あやとり句会



これまでの経過と今後の予定
(2016/8/18～2017/1/14)

- ◎8/18 下堀・ふれあい定例作業
- ◎8/24 下堀・ふれあい定例作業王龍店
- ◎8/27 川床の予行練習 (御成橋際)
青葉町夏祭り
- ◎9/5 森永乳業見学会
- ◎9/9 御成橋ワンドのカイボリと川床
- ◎9/10 空堀川公開勉強会
堆肥置き場の小屋修理
- ◎9/27 新河岸川流域 市民懇談会
- 10/7 北北建より50mm対応の工事
の工事説明
- 10/8 第214回定例会
がたろう通信第87号発行
- 10/11～14 下堀・ふれあい広苑定例作業
- 10 / 流連
- 10/22 空堀川見学会
- 11/12 第215回定例会
- 11/ 流連
- 11/19 第39回空堀川クリーンアップ
- 12/10 第216回定例会
- 12/ 流連
- 12/ 忘年会



NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」
では、会の活動を支援し参加して下さる方を募っています。

NPO 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 :

入会金 2,000 円,

年会費 2,000 円

団体・法人の場合 :

入会金 一口 10,000 円

年会費 一口 10,000 円

賛助会員 (入会金不要) :

個人 年会費 2,000 円,

団体・法人 年会費 10,000 円

◎ 会費振込先: 郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市萩山町 2-19-10

友保 (ともやす)

TEL/FAX : 042-394-9978



からぼり川

がたろう通信

第 88 号

2017年1月14日

発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者: 友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町 2-19-10

新年のご挨拶

友保邦弘

昨年大きな災害がありました。熊本地震、岩手への台風上陸で高齢者施設の惨事、北海道に三つの台風が上陸、九州の豪雨、鳥取地震、阿蘇山の噴火、そして糸魚川の大火、数え上げたらキリがありません。

我が空堀川周辺では大雨で一部溢水がみられましたが普段は相も変わらず瀬切れ状態が慢性化しています。嬉しいニュースもありました。小倉会員などの努力で「玉川上水・分水網の保全活用プロジェクト」が「未来遺産」に登録されました。野火止用水の隣を流れる空堀川にも清流復活の機運が波及することを期待します。

今年一年も目標達成のため地道な活動を継続して行きましょう。



空堀川 浄水場下流 からぼり広場

5 土砂の流れとは？

土砂の侵食、運搬、堆積の程度を調べることもある。

5.1 土砂の流れの測定方法

(1) 流砂量を測る：流れてくる土砂を直接的に集めて、その量を測る。洪水時の実施は難しい。

(2) 河床の変動量を測る：ある期間において、河床の高さを測量し、その変動量から土砂がどの程度流されているかを推定する。一般的には、この方法による。

(3) 実験的には、実験用水路の底に土砂を敷き、そこに水を人工的に流して流砂量を測る。流速が早い場合や底の粒径が大きい場合は、実験が難しい。

5.1 土砂の流れを左右すること

土砂の流れは、流速・川底の土砂の粒径（大きさ＝フルイでふるって、フルイの目の大きさをいう。）・勾配・土質などにより左右される。粒径が0.075～2mmを砂と言い、2mm以上はレキ（通称 砂利）と言う。

空堀川は、洪水時の設計流速は3m/sである。単純化して、石の形を球形とし、底面との摩擦力だけで水圧に抵抗すると考えると、石の直径が約1m以上無いと流されてしまうことになる。実際には、石は扁平だったり、河床に食い込んでいるのもう少し小さいものでも流されない。からぼり広場前の飛び石は70cm×70cm×50cm程度で、ほぼ流されていないのでこの計算は信頼できると思われる。これより小さい石を置いてあった場所は、流されてしまった。空堀川の河床は、武蔵野礫層と言われているレキで最大粒径は10cm以下である。空堀川は、洪水の時は河床の石が流されてしまっている。それで、河床の低下が甚だしい。浄水橋と馬頭橋の間では、1m近く河床が低下してしまい、そのレキが浄水橋の辺りに堆積して、時々それを撤去している。水位低下により、井戸端付近に作った2つ目のワンドは水が入らなくなり、ワンドとしての機能がなくなってしまっている。これを防止するには、100m位の間隔で床止め工としてジャカゴを流れに直角に置く工法などがある。しかし、今までそのような対策が行われたことは無い。

6. 地下水とは？

地下水とは、土の中に含まれる水を言う。土の中には空洞があり、これが非常に多い関東ロームなどでは体積の約70%が空洞である。一般の土でも約30%が空洞である。ここを水が流れていく。

6.1 地下水の種類

地下水は、不圧地下水・被圧地下水に分類される。不圧地下水は、浅層地下水とも呼ばれ、圧力がかかっていない地下水のことで、重力により流れて行く。被圧地下水は、

深層地下水とも呼ばれ、地層の中で水道管のように圧力が掛かっている地下水の事を言う。不圧地下水と被圧地下水の間には、粘土などの水を通さない地層がある。

6.2 地下水の流れ

不圧地下水の場合は、おもにその地層の勾配に従って流れる。地表面が崖のようになっていると、その下で湧水となる。東久留米の南沢湧水群・野川の湧水群、昔の井の頭公園・石神井公園の三宝寺池・武蔵関公園の富士見池などはその典型である。

谷状になった所の始まりの部分（谷頭部）

からいきなり水が湧いてくるので、ビックリさせられる。この湧水は、地中を流れて来るため年中温度はほぼ一定で、年平均気温+ α 程度であることが多い。東京では年平均気温が16℃程度なので、地下水の温度は18～20℃位となっている。井戸水が、夏冷たく、冬暖かいと言われるのはこのためである。

被圧地下水は、流れていってある所で自噴といって地表より高く噴くことがある。

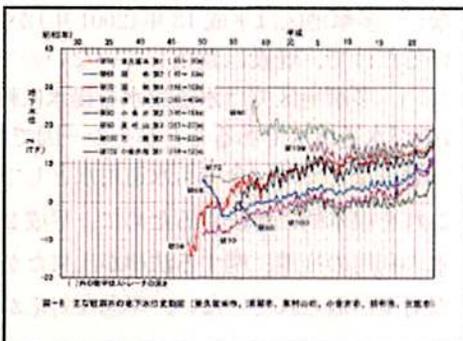
6.3 地下水の変動

地下水位は、年・季節変動が激しい。最大の原因は雨の降り方であるが、土地利用による地下への水の染み込みやすさ（浸透能）、川の構造、その他の工事（地下構造物：地下室、地下鉄道、地下道路など）に影響される。太平洋側では春に一番水位が低く、秋が高い。夏から秋に降水量が少なく、冬には降水量が少ないため、降水量と地下水位には2～3ヶ月のズレがある。

6.4 地下水を保全するには？

都市化すると浸透能が低下する。森林や畑では、降った雨の10～20%しか川に流出しない。残りは、土の中に浸透し、地下水となる。それに対して、宅地では80%が川に流出してしまい、地下水になるのは、20%程度である。これが原因で、自然な水循環が壊されている。

宅地になった所では、浸透能が低下してしまっているが、浸透施設（浸透マス、浸透トレンチ）を設けることで、それを補うことができる。日本で一番浸透施設が普及しているのは小金井市で、普及率が50%を超えている。そのため、小金井市では今でも井戸水が使われており、湧水も残っている。他の市町村では、10%も行っていない。地下水の流速は、非常に遅く、早くても1日で1～2m、遅いと数cm程度である。従って、浸透施設の設置をしても、その効果が現れるのには30年以上の



月日がかかる。東京都区部の地下水位が下がったのは、工業用水と地下水に含まれる天然ガスの採取のための揚水が原因である。1970年代にこれらの揚水を全て禁止したが、地下水位が戻ってきたのは2000年代になってからで、まだ元の水位には戻っていない。多摩地区は平成13年(2001年)から揚水規制が始まっているが、新設を禁止しているだけで、既設は禁止していないので、揚水量はそれほど減らず、水位は戻っていない。多摩地区では水道用水を揚水に頼っている自治体があり、多摩地区の揚水の約70%が水道用水であることがその一因であると考えられる。昭島市、羽村市、武蔵野市、三鷹市などでは、今でも水道用水として大量の揚水をしている。

これを根本的に解決するために、平成24年(2012年)に水循環基本法と平成26年に雨水の利用の推進に関する法律が出来たが、実現のあゆみが遅く、現状では何ら具体的な対策が取られていない。早急な対応が望まれる。 つづく

結索(けっさく)の傑作話!

小池 一平

12月17日、《第三仲良し広場》のトイレ脇で「不法投棄防止策(柵)の作成作業」と併せ兼ねて「庭師入門:結索(柵)」の修業を、行いました。不法投棄防止策(柵)は、『四ツ目垣』です。

当日は、底冷えがする日との予報でしたが、反して、暖かさを感じる中での作業でした。参加者は、友保理事長を植木職親方として、手元職人が7人です。材料は、竹材14本、杭材4本、ビデオカメラ1台を前日に「分部さん運送屋」さんに配達して頂き、トイレ脇に準備しました。

作業はまず、「庭師入門:結索(柵)」の修業から。垣根を作る根本作業の結索方法【男結び】の修練です。友保理事長兼植木職親方指導の下、遊歩道寄りの植栽帯、仮設の杭と竹材とを利用し作業。男結びがあるなら女結びはあるのか?とかを言いながら「ワイワイガヤガヤ」、修練用の縄(スズランテープで代用)をあっちへ回したり、こっちへ引っ張ったり、結ばなくていい部分を、結んだり!大騒ぎしつつ、友保理事長兼植木職親方も大わらわで指導!! なんとなく様になりそうな出来となり、本番へ。第三仲良し広場のトイレ脇へ移動し、杭を打ち、竹材を渡し、本番用の棕櫚(シュロ)縄で結索。ここでもスズランテープから棕櫚(シュロ)縄に代わり「アタフタ・ワイワイ・ガヤガヤ」での作業でした。出来の結索(けっさく)は傑作でした。※ちょっと駄洒落ですみません!最後に不法投棄の見張り番「ビデオカメラ」を設置して、きれいな環境が保たれるようにと祈りつつ、作業を終了しました。

39回クリーンアップは雨天のため一日順延して開催 第一会場

岡田 一郎

第39回クリーンアップは開催予定の11月19日(土)が生憎、雨天のために一日順延して翌日の11月20日(日)に実施しました。

当日は早朝から好天気恵まれて会員による諸準備も順調に進行しました。定刻9時には岡田の開会挨拶に始まり、会員の自己紹介に続いて作業要領とスケジュールを説明した後にからぼり広場を中心に上流部、下流部の2班に分かれて活動を開始しました。

一日順延のためか、毎回団体で支援いただいていた森永乳業関係の参加者は皆無で、一般市民4名(内幼児1名)、会員6名の計10名という極少の参加者でした。因みに前回実施した38回の活動は参加者54名を数える最多の記録でした。

既に10月末の業者による河川の草刈が行われたこともあり、当日のゴミ収集量は比較的少なかったものの、日頃から第三なかよし広場のトイレ裏や倉庫周辺に集積しておいた多岐にわたる種類の多量のゴミがトイレ前の分別広場に集められました。久しぶりに処理困難物の消火器1個が野口橋右岸に捨てられていました。11時から始めた神山会員主導によるゴミ分別作業は、マンパワーが少ない上にゴミの絶対量が多いことで、分別作業を予定の時間には終わることができず、昼食後に作業を持ち越すことになりました。

昼にトン汁を食しながら参加市民の方と話が弾み、空堀川が織りなしてきた歴史や当会の活動、また空堀川の良い親水性の在り方などが話題になりました。市民のひとり鮎の遡上時期には清瀬の柳瀬川の河川敷まで毎日アユ釣りに出向っていたことを紹介されました。今日まで好きなアユ釣りを通して身近な川の恵みを享受してきた経緯から、今後はその反対給付の活動に参加したいという感慨を漏らされました。当会の活動にも関心があることを伺い、加入促進に資する資料をお渡ししました。

昼食後は市民の参加者は所用で中座されました。午後の活動は会員5名で、また途中から第二会場の作業を終えられた友保理事長の支援も加わって、トイレ前での徹底した7種類分別の後半作業を行い、3時過ぎに全ての作業を完了し安堵いたしました。

今までは第一会場の最終的な分別ゴミの回収は正午前後に市役所の回収車により行われるのが通例でした。今回は幸いにも回収時間が午後3時過ぎに変更されたことで、余裕を持って大量ゴミの分別作業に時間を費やすことができました。活動実施日が翌日に順延したことで、毎回とも団体で参加いただいた支援がなくなり、残念ながら過去最低の参加者記録となりました。

(6)

今回昼食時に振る舞われた「トン汁」は、会員の分部、石井、原田の3氏により前日から準備されたもので、当日朝に大鍋で集会所に届けられました。男の凄腕調理の「トン汁」を、一堂に会して食した皆が「具材良し、味良し、量良し」と絶賛しておりました。

今日まで供し続けてきた名物「水団入りトン汁」が、作り手の奥住様の転居により一時は中止騒ぎもありましたが、調理係を買って出ていただき、期待に応じて大量のトン汁を調理していただいた3氏に厚くお礼を申し上げます。

小春日和の陽気のもとで作業時間が伸びましたが、無事故で当初の目的を果たして39回クリーンアップを終了できました。各種のジュースを多量に提供いただきました森永乳業社にお礼を申し上げ、また参加された皆様にご心から感謝し、ご慰労申し上げます。

当日の第一会場（久米川橋～上橋）の分別ごみの種類と量（70袋）は以下の通りです。

①燃えるゴミ 34袋 ②燃えないゴミ 2袋 ③ビン 1/4袋 ④缶 4袋
⑤ペットボトル 2袋 ⑥粗大ごみ 布団大1枚、建設用樹脂シート1枚、革製ソファ1個、ゴムボート1個、ラジカセ1台、炊飯器1個、ヘルメット1個、フライパン1個、傘12本、折畳み椅子1個、リュックサック2個、漬物石3個、携帯電話3個 ⑦処理困難物 消火器1個

なお、第二会場（大沼田橋～なかよし橋）の実施結果は友保理事長の報告からの抜粋したものを以下に記しました。

参加者： 一般市民8名、森永乳業関係9名、会員6名 合計 23名

当日の分別ごみの種類と量は以下の通りです。

①燃えるゴミ 31袋 ②燃えないゴミ 5袋 ③ビン・缶 3袋 ④ペットボトル 1袋 ⑤粗大ゴミ ビニール傘6本、布団、マットレス ⑥処理困難物 タイヤ 4本、電池 ①の燃えるゴミ31袋の内、下堀公苑の刈草と枝葉13袋を含む

*19日が雨天のために翌日20日に順延になり、また市報の掲載が直前の15日号にずれ込んだりしたことで、過去最低の参加者となった。

*10月末に業者による草刈り作業が行われた後であり、比較的ゴミ量は少なかったが、以前から保管していたゴミや枯草、枝葉が多量にあったので、運搬作業が大変でした。

*前日から用意していただいた大鍋満杯のトン汁が大量に余ったので、急遽チャック付きビニール袋を用意し、お土産として参加者に持ち帰りいただきました。

*参加者を増やすためには実行委員会方式にするなど、根本的な対策を講ずることも必要です。

俳句会とのコラボ



初声や静かな朝の四十雀

初苗秩父の山々浮かび出る

川辺道とんどん歩今朝の春

奥宮へ遙か九十九の山始め

寒鳥白き稜線昇りゆく

夕凍みの園舎にわらべ唄聞こゆ



ぼたん

緑

雑木林

案山子

真

喜和

あやとり句会

堆肥置き場を補修しました

報告者：原田

9月10日の河川についての勉強会の後、13時より3名で浄水場脇・堆肥置き場を補修した。今日は薄曇り空で作業日和だ。まず、板囲い内に在る機械(チップパー)や一輪車、資材道具などを運び出し、これらを覆っていた雨除け銀シートやブルーシートを取り除き、これを支えていた垂木、野地板などで出来た枠組みをそのまま板囲いの外へ運び出し敷地を片付け・整地する。

雨などで傷んだ箇所を切り取り、緩んだ木ねじを付け直す。新しい木材や板も無く補強のため「筋交い」を入れたいが材料の寸法が足りず中途半端な物になる。止む無く角々に「片持ち」で補強し枠は完成…と思いきや、天井部が平らで雪、雨などが溜まらぬよう奥へ片流れに作り直す。波板やコンパネで天井や囲いを作ると小屋になり、許可されないそうである。今回の作業は機械、資材の雨除けである。

河原に天日干ししてあったシート類の使用可能な部分を切り取り保存し、資材類も整理する。補強の終わった枠を神輿担ぎで板囲いの中へ搬入し、枠に銀シートを被せロープで固定する。チップパーを試運転しこの時点での異常なしを確認し、機械、資材類を元に戻し終了する。途中から気遣いの分部氏から飲み物を頂きながらお手伝いを頂きました。終了4時。

参加者：友保理事長、内堀氏、原田。+ 分部氏。計4名。

これまでの経過と今後の予定

(2016/10/8~2017/4/15)

- ◎10/8 第214回定例会
がたろう通信第87号発行
- ◎10/11~14 下堀・ふれあい広苑定
例作業
- ◎10/22 空堀川見学会
- ◎11/9 流連 バス現地見学会
- ◎11/12 第215回定例会、事前CU、
新入会員歓迎会
- ◎11/18 よろず交流会 (サンパルネ)
- ◎11/20 第39回空堀川クリーンアップ
- ◎12/10 第216回定例会、井戸端の
生垣剪定とハマナスロープ修理
- ◎12/17 第3仲よし広場 四ツ目垣
作成、防犯カメラ設置、忘年会
- ◎12/23 久米川町、まちかど美化キャ
ンペーン応援
- 1/14 第217回定例会
がたろう通信第88号発行
- 1 / 流連
- 2/18 第218回定例会
- 2/ 流連
- 3/11 第219回定例会
- 3/ 流連
- 4/8 第220回定例会
- 4/15 第40回空堀川クリーンアップ
- 4/ 流連

会員募集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」
「では、会の活動を支援し参加してくだ
さる方を募っています。

NPO 法人の活動に関心のある方はお
問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 :

入会金 2000 円、

年会費 2000 円

団体・法人の場合 :

入会金 一口 10000 円

年会費 一口 10000 円

賛助会員 (入会金不要) :

個人 年会費 2000 円、

団体・法人 年会費 10000 円

◎ 会費振込先：郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致しま
す。

東村山市萩山町 2-19-10

友保 (ともやす)

TEL/FAX : 042-394-9978

.....

編集後記

今回の会報は、文章ばかりになって
しまいました。写真が少なくて申し訳
ありません。載せてみたいと思われる
写真などがありましたらお知らせ下
さい。

からぼり川

がたろう通信

第 89 号

2017年4月22日
発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者: 友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町 2-19-10

楽曲「空堀川」を 募集します !!

川への思い出(神田川)

内堀 光朗

空堀川に清流を取り戻す会に参画して6年余り。毎年、クリーンアップ(河床の掃除)・草刈り作業・川祭り等、川の環境を維持・保全する取り組みが繰り返し行われているが、空堀川は雨や排水を海に流す大きな排水路のようであって、四季を通して水の流れる状況にはない。この川に水辺が復活すれば、憩いと潤いを享受できる環境も増し、子供の元気な声も聞こえるのにも思いながら、自分が暮らした三鷹市での子供の頃の川との出会いを思い出してみました。

昭和24年前後、井の頭公園の湧水(お茶の水)を源流として京王井の頭線に沿って三鷹台駅～仙川～都内へと流れる神田川は、三鷹台駅辺りでは護岸も整備されない幅3～4m・深さ20～40cm位で、学校帰りには子供が自然と集まり、手作りの竿で川エビ・フナ・ナマズ等を捕ったり、泳いだり澄みわたった川での遊びを通して多くのことも上級生達に楽しく教わったことが思い浮かびます。



(2)

その後、神田川も高度成長期と都市化が進み人や工場も増えて、生活排水や工業排水が川に流れ込むようになり、汚い時代が続き(昭和35年～47年代)当時の新聞記事では‘臭くて汚いドブ川’のイメージが伝えられたそうです。

昭和40年代には、都内に就職したその地域に神田川の下流が流れていましたが3面コンクリート張りの5～8m下に川床のドブ川だったと思います。

昭和48年(1973年)フォークグループ「かぐや姫」が‘神田川’を発表し、神田川の知名度が全国的となりました。

このころは、新宿区内に都の下水処理場(落合水再生センター)ができ、下水道の普及率が向上するにつれて、川の環境は少しずつ良くなり始めていました。神田川のメロディーが街に流れ、河川の改修も下流から中野区まで行われ、平成4年にアユが見つかったことで新宿区ではイメージやもう少し川そのものに目を向けてもらえるような取り組みもはじめ、水に親しめるような整備をしたそうです。

一方、井の頭池の湧水は、昔はうっそうと茂っていた森も宅地化し昔は7か所から湧き出していたが、現在はポンプで地下水をくみ上げている状態だそうです。市民と行政が一体となって一級河川に清流を取り戻した例が、こんな身近にありました。

一級河川「空堀川に清流を取り戻す」には、何かが足りない？。

どなたか楽曲「空堀川」を発表してください。



第2回 空堀川 公開勉強会を開催しました

平田健一



イシガメものぞいています



展示した空堀川の魚類

第2回の公開勉強会を開催しました。参加された方々ありがとうございました。市民の方が気軽に参加でき、空堀川のことを知っていただきたいという会です。今回のテーマも、前回に引き続き「空堀川の歴史を知ろう！」です。約1.2万年前の旧石器時代から現在までの空堀川の歴史を振り返りました。中身はほぼ前回と同様ですが、前回わかりにくかった部分を図にして少し分かりやすくしました。

開催日時：2017年4月8日(土) 10:00～11:50

10:00～11:05 空堀川の歴史の説明

11:10～11:50 質疑、意見交換、フリートーキング

開催場所：東村山市地域福祉センター（東村山駅西口より徒歩5分）

参加者：一般市民10名(内10代1名)、他ボランティア団体3名、当会会員15名、
合計28名

◆空堀川の歴史

1. 空堀川の概要

武蔵村山市→東大和市→東村山市→清瀬市で柳瀬川に合流。延長約15km、河川勾配約1/200

2. 空堀川の生い立ちと歴史

・空堀川の生い立ち

空堀川は、武蔵野台地の扇状地の上に1万2000年以上前にできた自然の川である。

・歴史に記された空堀川

旧石器時代から、空堀川のほとりに遺跡があった。（武蔵村山市、東大和市、東村山市）

江戸時代：砂の川、悪水堀などと呼ばれていた。

明治初期：空堀川の周辺（特に上流部）は、田んぼとなっていて調整池の役割を果たしていたと考えられる。住民は、狭山丘陵の際に住んでいた。

昭和30年代：明治初期と同様。川から少し離れた土地は桑畑。昭和40年代～60年代：急激に都市化して、いままで人が住んでいなかった空堀川周辺にも人が住むようになった。

・空堀川の変遷

空堀川の名前は、昭和29年についた。昭和40年、都の管理する一級河川となった。

・空堀川の水質汚染の歴史

H16年までは、BOD 70～40ppm程度、H17年からは10ppm程度、現在は3ppm程度。都内63河川の順位では、S50は63位(ワースト)、H10～16は62位、H19年以降は改善され50～25位。

(4)

・流域下水道の整備と水量の激減 (S58~H9)

流域下水道の整備により、水質は良くなったが、水量は激減した。生活用水が、清瀬水再生センターに送られて処理され、柳瀬川に放流されて空堀川に戻らないためである。常時は、主な水源は、東大和市の森永乳業の工場で使用した水を高度浄化したものとなっている。雨水は、以前と同様 空堀川に流れるので、雨のときだけ多くの水が流れる。

3.空堀川の現状

空堀川が河川整備されるにつれて、流れが消えている。現在は、浄水橋（新青梅街道をくぐる）から下流は常時水が無い。御成橋付近のみ、JR 武蔵野線の湧水をポンプアップしているので、少し水がある。

水が流れていれば、ヒートアイランドの緩和になるが、常時水がないと河原がかえって高温になってしまう。魚・鳥は、住めない。また、消火用水として使えない。

現在の河川整備のやり方では、人が川に近づけない。（親水性がない）多自然川づくりになっていない。

膨大な整備費をかけている。河川の氾濫は無くなったが、却って生活環境を悪化させている。

空堀川の水涸れの原因は？

- ・都市化の進展⇒浸透能が低下し、雨水が直接川に流れるように（昭和年代）
- ・流域下水道の整備⇒空堀川に生活用水が流れなくなった(S56~H9)
- ・河川改修の進展⇒河川改修のやり方に問題（30年以上）

4.空堀川の未来にむけて

巨額な公共投資を、街づくりとして活かす。流域4市と市民が協同して、イベント等に活かす。河川区域の一部を市民参加で維持管理する。このような方向性が必要と考えています。

◆質疑応答・意見交換の一部

・空堀川の水量復活の対策は？

○長期的には、浸透マス・貯留槽です。東大和市・東村山市・清瀬市には補助制度があります。東村山市は10年以上前から制度はありますが、年間の適用件数は20件程度で進んでいません。小金井市は、普及率が50%を超えて今でも湧水があります。但し、効果がでるのは30~50年後になります。これは、地下水は非常にゆっくり流れるからです。流域4市で共通の仕組みができるといいと考えます。

○中期的には、河川改修のやり方を変えて、河床から水が地下に浸透しないように粘

土貼りをすることです。現在行われている清瀬の合流点付近の工事では、行われることになっています。

○短期的には、別の水源（玉川上水、野火止用水）から水を引いてくることです。玉川上水駅のすぐ南には玉川上水、府中街道の九道の辻には野火止用水が流れています。いずれも都道が南北に通っていてここには路面排水の排水管が敷設されています。これに接続すれば、空堀川に水が流れます。雨の時には、排水管があふれないように止めればいいです。ただ、東京都は「排水管に用水を流すことは、目的外使用で認められない。」と言っています。

東京都では、建設局、水道局、下水道局、環境局と都市整備局というように縦割り行政です。水循環基本法ができて、これらを横につなぐ協議会を作ることになっていますが、できていません。私たちは、署名集め・請願・流域連絡会を通じて働きかけを行ってききましたが、対策は遅々として進んでいません。ぜひ、皆さんの、お力をお貸してください！！

第40回空堀川クリーンアップ開催（第二会場） 垂水 荘司

年2回の前半に行われた、第40回空堀川クリーンアップは、桜の花びらが舞い落ち、川の中には菜の花が咲きほころび、のどかな気候の下で行われました。前回（第39回）は1日延期を余儀なくされた悪天候とは、うって代わってクリーンアップにふさわしい好天候に恵まれました。

早朝8時ころからフェンスの扉約15か所を開錠し、会場の準備中早々に駆けつける人たちもいました。9時前には準備が整い参加者の記名をお願いしました。

今回は一般市民、森永乳業関係者、行政の方々及び当会員別に記名を願いました。集合写真撮りから、クリーンアップの開始です。

第二会場は西武新宿線～大沼田橋ですがすでに西武新宿線～なかよし橋までは事前に済ませていまして、1班は秋津南橋～大沼田橋、2班は下堀橋～秋津南橋、3班はなかよし橋～下堀橋です。下堀橋は本部の場所でゴミの分別も行う場所です。全体の作業内容の説明後3班に分けて人数を調整し、特に遠くの班の人には健脚であることを条件に参加していただきました。

兎に角作業は安全第一、事故を起こさない様十分気を付ける事をお願いしました。川の中のゴミは草の中にあり、見つけにくいこともありましたが、川底は水もなく砂利の上のゴミも満遍なく収集できました。

第二会場では事前にクリーンアップしたゴミを、前日に下堀広苑に運び込み1日

(6)

仮置きしました。今回は仮置きのごみと当日のごみを一緒に分別する班を設けました。例年では2か所に分けて分別作業を行っていましたが、事前にごみの量を目視し、すべて1か所で分別できる程度と判断しました。

ごみの量は年々減少気味で、非常に良い傾向と思っております。

一方で今回のみの中には使い古した電気機器、自家処理しにくい鋼材をわざわざ川に捨てに来る人が居ることです。これは行政のごみ収集に問題があるかも？特に処理困難ごみは、ものによっては高額な料金になる場合があるからではないか？、

中にはごみになる前に、別の用途でリサイクル出来るものもありました。

作業開始から約50分後森永乳業さんから戴いたジュースを皆様方に配布し一息ついて頂きました。順調に収集作業が進み10時半ころには割り当て範囲に達しました。一仕事終わった皆様にはトン汁を食していただき、差し入れのバナナとノート（今回は40回記念のため）を配布いたしました。

今回のクリーンアップに参加された皆様方には、達成感がみなぎっております。

何の事故もなく無事作業をおえることが出来たことに感謝いたします。

最後に参加されたすべての皆様にお礼を申し上げ次回のクリーンアップに（秋）参加をおねがいして散会しました。

当日の第二会場（なかよし橋～大沼田橋）の参加人数とごみの種類と量（70ℓ袋）は以下の通りです。

一般市民9名（1）、森永乳業関係者33名（4）行政3名（北北健）会員10名
（ ）内は小学生以下の子供



俳句会とのコラボ



からぼりの川床染めぬ花吹雪

雑木林

長閑なり屋根に鉋の忘れ物

案山子

牽制の球児蹴散らす春の土

真

雨上る伸びるはこべの根張りかな

ぼたん

グルメの子手には老舗の桜餅

緑

命得て今年の花にまみえけり

由衣

ふたたびの村山緋竹の秋

喜和

あやとり句会

川祭り 5月28日(日)



これまでの経過と今後の予定

(2017/1/14~2017/7/)

- ◎1/14 がたろう通信第88号発行
- ◎2/13 第218回定例会
- ◎2/20 流連第8期第4回
- ◎2/25 馬頭橋 小彼岸桜の剪定
- ◎3/11 第219回定例会
- ◎3/19 28年度第1回理事会
- ◎3/25CU及び公開勉強会のポスター作製
- ◎4/1 ポスター掲示、レジュメ印刷
- ◎4/3~ 三陸ボランティア
- ◎4/7 ワンドの生き物調査。
- ◎4/8 第220回定例会、
第2回空堀川公開勉強会、
事前CU、立て看板の取り付け
- ◎4/15 第40回クリーンアップ
- ◎4/22 がたろう通信第89号発行
- 4/25 鯉のぼりチェック
- 4/28 鯉のぼり掲揚。
総会招集ハガキ郵送
- 4/30 会計監査
- 5/6 鯉のぼり取り外し
- 5/8 第1回川まつり実行委員会
- 5/13 第221回定例会。28年度
総会。吉村先生勉強会
- 5/22 第2回川まつり実行委員会
- 5/27 鯉のぼり掲揚
- 5/28 第19回空堀川川まつり
- 6/ 川まつり反省会
- 6/4 身近な川の一斉調査
- 6/ 定例作業
- 6/10 第222回定例会
- 6/ 流連
- 7/8 第223回定例会
がたろう通信第90号発行
- 7/ 流連

会 員 募 集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加して下さる方を募っています。

NPO 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 :

入会金 2000円、

年会費 2000円

団体・法人の場合 :

入会金 一口 10000円

年会費 一口 10000円

賛助会員 (入会金不要) :

個人 年会費 2000円、

団体・法人 年会費 10000円

◎ 会費振込先：郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市萩山町2-19-10

友保 (ともやす)

TEL/FAX : 042-394-9978

.....

編集後記

今回は、空堀川をメジャーデビューさせるための大胆な提案をさせていただきました。これにより、市民の皆様及び行政の皆様の関心を頂ければ、変えられるとの強い思いを、お汲み取り頂ければ幸いです。

からぼり川

がたろう通信

第 90 号

2017年7月 8日

発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者: 友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町 2-19-10

川に子供は よく似合う



第19回「空堀川・川まつり」開催

第一会場報告 垂水 荘司

2017年5月28日(第4日曜日)恒例となった空堀川・川まつりは快晴の青空の元で盛大に開催されました。

各地において、河川にまつわるイベントは多く開催されておりますが、当初空堀川・川まつりは空堀川河川工事後に通水祭りとして行われました。過去に1度の中止もありましたが、今回は19回目の川まつりです。このことは、地域の皆様に空堀川環境についての意識向上と、地域の町おこしの一環として捉えて頂けるようになったのだと考えます。まさに継続は力なりですね。これも一重に関係者の皆様の熱意と努力の賜と感謝致します。

(2)

実行委員会の開催

メンバーは自治会4団体、北多摩北部建設事務所、東村山市役所道路管理課、NPO空堀川に清流を取り戻す会でした。

5月8日に第1回実行委員会を東村山市役所本庁舎5階501会議室にて開催、第2回目は5月22日東村山市役所北庁舎1階第2会議室で行われました。川まつりの日程、開催場所、イベントの種類、出店者の役割分担等を確認し実行委員会を終了しました。従来では3回開催していましたが、本年は要領を得て2回でまとめることができました。

事前準備は2日ほどを要し、北多摩北部建設事務所には会場の草刈り、土嚢設置、ステップの構築などを実施して頂き、NPO空堀川に清流を取り戻す会は鯉のぼりの掲揚、フリーマーケットの線引き、立て看板の作成・取り付け、自転車置き場のテープ張り等を実施しました。そのほか、事前に新聞チラシの折り込みを依頼。東京新聞1200枚、ASA東村山南3000枚、毎日新聞700枚、各販売店様にて毎回無料で引き受けて頂き大変有効なPRとなりました、改めて御礼申し上げます。

川まつり当日は朝から快晴で、会場設営においては市役所の皆さんには朝早くからテント12張り、机、椅子等の搬入など、重量物の運搬・設置に大いに活躍頂き、店舗出店者、会員一同感謝に堪えません。

会場設営と同時に早くから子供づれの家族が川で遊んで居ました。大空には約100匹の鯉のぼりが舞い、会場のからぼり広場では10時からオープニングセレモニーとして、美住隣和会の高木さんの進行で実行委員長の友保氏の挨拶を皮切りに東村山市長、東京都北多摩北部建設事務所所長等のご挨拶、国会議員秘書、都議会議員、市議会議員等の列席者のご紹介がありました。

今年は特に会場を色濃く分けて第1会場は例年のように和太鼓、昔遊び、丸太切り、竹細工、ヨーヨー、鴨レース、水質検査、フリーマーケット42店、模擬店10店その他展示ブース、(鴨レースは第1会場第2会場に跨っています)。第2会場は災害時の訓練、体験的なものが主で余興として青葉バナーバナーズの実演がありました、詳しくは第2会場の紹介をご覧ください。

空堀川の水量は大幅に減水しましたが、まつりの前々日にまとまって雨が降りその水を堰き止めてカヌーを行ったり、鴨レースもできました、事前に自分の鴨を購入して、13:00からの鴨レースに臨んだ親子は大喜びでした。

各会場の催し物、行事も順調に進行しましたが、会の運営は実行委員のみでなく東村山七中生のボランティア活動は大きな力でした。大変有難うございました。

終始好天に恵まれ午後3時、友保 実行委員長の挨拶で川まつりの幕は閉じました。

今回の川まつりの参加推定人数、両会場合わせて約2500名を超えていたものと思われます。1日を通して何のトラブルや、怪我もなく最後のテント等の片づけについても実に要領よく、皆が積極的に参加し大変好印象を抱きました。片づけ終了後もまつりの余韻を楽しんで、親子づれがイベント広場で遊んでいる光景は来年度の川まつりへの期待度を表しているのかも知れませんね。

今年は鯉のぼりを最後まで残し、天候の心配もないようなので翌日片づけました。関係者の方々のご協力に感謝申し上げます。

第二会場 報告 内堀 光明

川まつり第二会場は、これまでの継続した盛り上がり感に欠けるとの声を受け、昨年からのカヌー体験教室、救急救命・災害救助犬のデモンストレーションに加え、当会員の指導による魚とり(ガザガサ)体験、自主消防隊の放水訓練、災害救助物資配給訓練(?)、AOBAバーバーズの東村山音頭パラパラバージョンなど、催し物の充実に取り組みました。

今年は、石井カヌー教室様には専門スタッフ、中学生を含む8名、カヌー16艇・安全ジャケット25着を持参して頂きました。体験前の安全教室には子供や親も真剣な眼差しで聞き入り、多くの希望者が待つことなくカヌーに乗り込むことができました。本当に感謝・感謝です。この間、大人は救急救命・災害救助犬のデモンストレーションや自主消防隊の放水訓練、AOBAバーバーズのパラパラなど催し物を堪能し過ごされていました。15～20分ほどで上がって来た子供達は「おじさん、ガサガサどこ?」と声をかけてきました。場所を教えて網を渡すと、子供はガサガサへ親は救援物資の配給へと行く光景もありました。

また、近くでメダカを育てている男性が5～6匹ペット容器に入れて餌を添えて7セットを持参いただき、好きな子供がいたら上げてほしいと置いていかれましたが、15分ほどで貰われていきました。

川面からは子供達の楽しむ声が、川辺では親の声援が響き、お客様もスタッフも十分楽しんだひと時でした。



身近な水環境の全国一斉調査

平田 健一

6月5日に東村山市内の空堀川7ヶ所で、水質・水量の調査を行いました。

調査方法

2017年 6月5日 (月) 9:20~12:00

原田さん、長谷川さんと私の3名で行いました。

調査したのは、東大和市境の上橋・浄水橋・なかよし橋・御成橋・野行前橋・野行橋・清瀬市境の大沼田橋7ヶ所です。pH,COD,NO₂-N,NH₄-Nは、パックテストで行いました。

調査結果

調査は市内7ヶ所ですが、そのうち水があったのは3ヶ所だけで、残りの4ヶ所は昨年同様 水がありませんでした。2014年は4日連続で雨が降り7ヶ所測れましたが、2015年以降この状況が続いています。特に今年は浄水橋の水量が更に約1/3に減っています。透視度は、良くなったところもあります。CODは、5~6.7になってしまいました。魚が住める限界は5と言われているので、このまま続くと魚が住めなくなってしまいます。

項目	上橋 下			浄水橋 下			御成橋 下		
	2015年	2016年	2017年	2015年	2016年	2017年	2015年	2016年	2017年
気温 (°C)	25.9	22.8	26.4	25.7	21.9	27.3	25.9	19.1	23.3
水温 (°C)	29.2	21.5	24.5	27.4	21.5	23.9	19.6	18.9	20.6
pH	9.5	9.5	9.0	9.0	9.0	9.5	7.0	8.5	9
EC (μS/cm)	312	故障	202	144	故障	218	148	故障	388
COD (mg/L) 3回平均	3.7	5.3	6.7	2.3	6.0	5.0	0.7	2.0	2.0
NO ₂ -N (mg/L)	0.005	0.2	0.005	0.005	0.1	0.005	0.005	0.02	0.005
NH ₄ -N (mg/L)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0	0.2	0.2	0.2
透視度 (cm)	73	90	88.5	65	91	130	115	96	107
流速 (m/s)	0.41	0.2	0.422	0.7	0.4	0.083	0.3	0.1	0
流れ幅 (m)	4.2	1.7	2.7	3.3	2.4	6.0	5.0	0.6	
平均水深 (m)	0.22	0.24	0.09	0.15	0.15	0.105	0.15	0.06	
流量 (m ³ /s)	0.390	0.082	0.103	0.350	0.140	0.053	0.230	0.004	0

赤字は、前年より悪化 青字は、前年より良化

・洪水時の計画流量は、150m³/s（50mm/時間の時）です。平水時の流量は、これの1/1000以下しかありません。

・特に浄水橋の流量の減少がひどいです。からぼり広場から下流は、普段水が流れていません。

・御成橋には、JR武蔵野線からの地下湧水が流入しています。600～2000t/日（JR東日本調べ）

今年は、水が流れてくる時間が短く、止まっている時間が長かったです。今年は、流量が測れないほど水量が少なかったです。次の達磨坂橋に行く前に水がありません。



まとめ

原田さん、長谷川さんお疲れ様でした。

まったく水が無く、魚・鳥も確認できませんでした。上橋では、原田さんが少しだけクレソンを見つけてくれました。10年ほど前には、恩多町にずっと生えていて、白い花を咲かせていたのですが、皮肉にも、保育園児が水のない川底で遊んでいました。調査をするモチベーションも上がりません。しかし、水が無いというのも貴重なデータですので、調査は続けていかないといけないと考えています。

改めて空堀川に水を！という運動を続けたいと思います。

会員紹介 長谷川 賢司さん

去る5月13日、定例会と定期総会の日に入会致しました 長谷川賢司と申します。入会のきっかけは内堀さん、原田さんに勧められて一緒に活動出来ればと思ったからです。現在 シルバー人材センターに登録して用務員の仕事をさせて頂いて

います。化成小学校に3年間いまして今年の4月から秋津東小学校に勤務しております。住まいは青葉町2丁目です。

現役時代は仕事に埋没していて東村山のことも知らない事ばかりですがただ、空堀川に水がなく、寂しい限りでした。清流を取り戻すという目標は素晴らしいことです。皆さまの様な色々な知識は持っていませんが、ただ身体だけはまだ元気ですので、皆様の多少のお役に立てればと思っております。

今後ともよろしく願いいたします。

「空堀川」との出合い

村岡一郎

昭和48年から53年まで青葉町2丁目で二人の子供は幼児期を過ごしました。職場は久米川町にありました。下堀橋を渡り通勤をしたのですが、空堀川は小さくその時の印象はありません。その後、恩多町5丁目に転居しました。当時なかよし橋はなく、何故か川沿いにある数軒の家のことが印象に残っています。その後、転勤があったりして月日がたち、空堀川は大きくなりその数軒の家は消えていました。東村山五中に通学するようになった子供は土橋まで迂回して通学しました。職場が都心になり久米川駅まで歩道の整備されていないバス路線を歩いたり、雨の日は車で送ってもらったりの生活でした。空堀川の管理用道路が整備されつつあり、いずれその道を歩いて久米川駅まで歩けるようになるのを心待ちにするようになりました。管理用道路が完成し、なかよし橋から天王橋へ歩いて通勤した数年間は水が枯れることがありませんでした。春に石橋付近で菜の花が一面咲き乱れた年がありました。土橋付近の水辺で1m以上の大きな青大将を見かけたこともありました。カルガモの一家を毎年見かけました。冬になると麻の実幼稚園前の淀みにマガモ、カルガモ、オナガガモ、オシドリが群れていました。そんなある朝、住宅の側溝の穴から狸が鼻だけ出して動けなくなっているのを見ました。帰宅して家内にその話をしたら、たまたま役所の方がコンクリの板を外しているところに遭遇したそうです。狸は一目散に逃げて行ったそうです。また丸山橋の上手には川底を深くして石で囲った溜まりがあり常連が釣りをしていました。その溜まりには時々カワウが訪れていました。ある夜、空堀川を歩いて帰った時、第三天王橋の下にアオサギがたたずんでいるのを見たこともありました。そして何所で聞いたか不明ですが、いずれ空堀川の水が枯れる噂を聞きました。丸山橋の釣りの常連は魚をどこかに移したとか?その後、水が枯れ川床を見るようになりました。最近では、時々わずかに残った水辺でサギが魚を狙っているのを見かけるぐらいで、常駐していたカルガモもめったに来ません。今では、水があるときは橋の上から魚を捜し眺めるのが習慣となっています。昨年の夏は、雨が少なくふれあい橋のあたりは一面に草がはえ川床を見ることのできないほどでした。

なかよし橋を南に向かい坂を上ると向台のバス亭があります。空堀川から見ると高台状になっているためこの辺りを向台と呼んでいたようです。この斜面に大きな果樹園があり春には梨の白い花が一面に見られます。我が家はその下にあるのですが、大雨の時は道路に水が溜まり玄関まで迫ってきます。外に出ないようにしているのですが、空堀川の水位が大変気になることがあります。

近年は空堀川沿いを散歩することが多くなり、ある時、下堀公苑で「柳瀬川空堀川流域連絡会」の看板を見たりしているうちに「空堀川に清流を取り戻す会」の存在を知るようになりました。毎朝、久米川駅まで空堀川沿いを歩きながら、常に水が流れている景色を見ていた頃のことを思い出され会の活動に参加したいという思いが強くなりました。

俳句会とのコラボ

大向日葵垣根を越えて天空へ



狼狽す玄関の戸に大蛾ゐて



蛇過る爪先立ちて深呼吸

真

苔清水奥入瀬白く逆巻けり

案山子

青梅雨やタイルのベンチ濡れそぼつ

雑木林

上機嫌のみどり児加へ夕端居

喜和

あやとり句会



これまでの経過と今後の予定
(2017/4/25～2017/10/14)

- ◎4/25 鯉のぼりチェック
- ◎4/28 鯉のぼり掲揚。
総会招集ハガキ郵送
- ◎5/6 総会資料印刷
- ◎5/ 6 鯉のぼり取り外し
- ◎5/ 8 第 1 回川まつり実行委員会
- ◎5/13 第 221 回定例会。
28 年度総会。
吉村先生勉強会
- ◎5/20 川まつり看板・ポスター掲示
- ◎5/ 22 第 2 回川まつり実行委員会
- ◎5/27 川まつり会場整備、
鯉のぼり掲揚
- ◎5/28 第 19 回空堀川・川まつり
- ◎5/29 第 88 期第 6 回流域連絡会
- ◎6/1 南台小学校ヤゴ救出作戦
- ◎6/5 身近な川の一斉調査
- ◎6/10 第 222 回定例会
- ◎6/12～16 春の定例作業
- ◎6/22 草刈り前の植生調査
- ◎7/8 第 223 回定例会
がたろう通信第 90 号発行
- 7/ 流連
- 8/ 夏の定例作業
流連
- 9/9 第 224 回定例会
- 9/ 流連
- 10/14 第 225 回定例会
がたろう通信第 91 号発行
- 10/ 流連 子どもの水辺維持管理

会 員 募 集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加してくださる方を募っています。

NPO 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 :

入会金 2000 円,

年会費 2000 円

団体・法人の場合 :

入会金 一口 10000 円

年会費 一口 10000 円

賛助会員 (入会金不要) :

個人 年会費 2000 円,

団体・法人 年会費 10000 円

◎ 会費振込先：郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市萩山町 2-19-10

友保 (ともやす)

TEL/FAX : 042-394-9978

.....

編集後記

当会、最大のイベント「川まつり」が終わって一安心です。非常に盛り上がって来ているのですが、川の水は減る一方で悩みは募るばかりです。また、空を泳ぐこいのぼりも古くなり減っています。こちらも、何とか増やす手立てはないのでしょうか。